

E.F.C.F. M61A5 MAIN BATTLE TANK

"SEMOVENTE" PHANTOM ELEMENT

U.C. HARD GRAPH MOBILE SUIT GUNDAM



1:35 U.C.ハードグラフシリーズ No.6

地球連邦軍 61式戦車5型 "セモベンテ隊"

BANDAI 2009 MADE IN JAPAN © 創通・サンライズ



0157471

【部隊解説】 「セモベンテ隊」とは、一年戦争開戦当初、モビルスーツを保有しない地球連邦軍が、ジオン公国地球制圧軍に対抗するために、鹵獲したザクⅡを主力装備として構成した特殊部隊の1つであり、その通称である。

彼らは、鹵獲したザクⅡによって友軍を装い、ジオン軍地上部隊に接近、強襲を仕掛ける戦法を常としていた。セモベンテ隊の指揮官はフェデリコ・ツァリアーノ中佐であった。これらの特殊部隊は、通常、鹵獲ザクⅡ3機と61式戦車1輦で小隊を構成しており、セモベンテ隊の場合、2個小隊をもって部隊を形成していたが、それらの部隊の編成数、作戦行動範囲は極秘とされ、実態は明らかにされていない。

しかし、鹵獲されるザクⅡの数にも限界があり、ザクⅡの不足を補う意味で、61式戦車があてがわれた。これは、ザクⅡと同じ進出速度を維持できる数少ない連邦軍の戦闘車両だったからである。

セモベンテ隊は、主に北米アリゾナ砂漠において活動していたようである。これらの特殊部隊の活動は、その性格からほとんど戦史に記録は残されないが、偶然に遭遇し、戦闘状態に入ったジオン公国軍第603技術試験隊の報告により存在が記録されている。

現在確認できる戦歴は、以下のとおりである。

U.C.0079.04.29 ジオン公国軍 第128物資集積所襲撃

U.C.0079.05.09 ジオン公国軍 第67物資集積所襲撃

セモベンテ隊は、作戦行動中に、ジオン公国軍YMT-05ヒルドルブと遭遇。激しい戦闘の後、部隊は壊滅に追い込まれるが、ツァリアーノ中佐の必死の一撃がヒルドルブを道連れとした。

セモベンテ隊の隠密裏の活躍は、ジオン公国軍の地球制圧作戦を僅かながらも遅滞させることに成功した。熱砂の陽炎に消えた彼らの功績は、その半年後、地球連邦軍の大反攻作戦となって結実するのである。



《セモベンテ隊の編成》

第1小隊:MS-06ザクⅡ 3機			61式戦車 1輦
1号機 321 ツァリアーノ	2号機 322 ベンター	3号機 342 ホロコフ	142 車長 ミツェル
第2小隊:MS-06ザクⅡ 3機			61式戦車 1輦
4号機 343 スチュワート	5号機 344 ジャクソン	6号機 324 クルス	144 車長 マリオン

《"セモベンテ隊" 部隊章》

《フェデリコ・ツァリアーノ中佐》 《フランシス・マリオン大尉》 《マルコ・サン＝ロザリオ曹長》



● [M-199D サービスユニフォーム]

● [M-187 タンカースカバーオール]

PAINTING

「1▲3▲14」

1 → 第1機甲師団
3 → 第3戦車大隊
14 → 第3戦車大隊の14番目の小隊

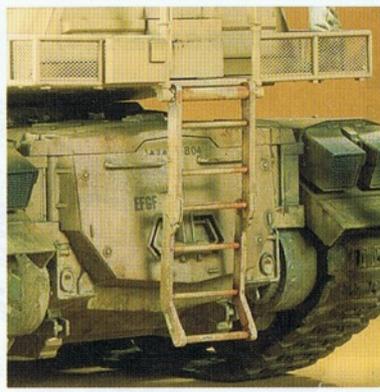
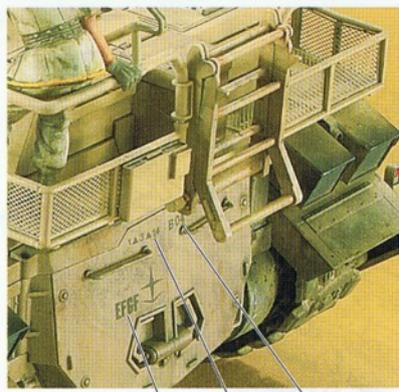
「B04」

B → B中隊
04 → 4号車

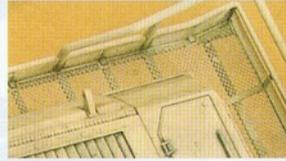
車両のマーキングは上記の所属を示すが、これは本車両がセモベンテ隊に配備される以前の表記のまま残されているものであり、同隊の所属を示すものではない。セモベンテ隊の所属原隊ははまだ不明である。

▲ワイヤーをナイロン素材で再現。

▲後部に人員輸送用ハッチがある。



17 24 23または22



21

20または19

雑具箱(上部ボックス)とサイドスカート(車体側面の装甲板)を外した状態を選択可能。

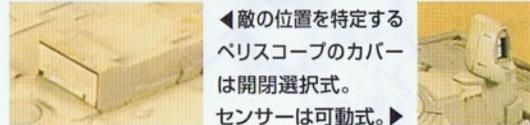
《セモベンテ隊 144 マリオン車》

車体のE.F.G.F.は地球連邦軍 地球軍陸軍部隊を示す。
(EARTH FEDERATION GROUND FORCE)

▼前部フェンダーの上部のOVM類。(On vehicle Material=車体に取り付けられた工具類)

▼移動・輸送中に主砲身を固定して、振動による破損・故障を防ぐ為の支持架。(トラベリングロック)

▼キューボラ周囲を回転可能な13.2mm重機関銃座。



◀敵の位置を特定するペリスコープのカバーは開閉選択式。センサーは可動式。▶

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。塗装する場合は使用する塗料の使用上の注意に従ってください。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●本体等:
黄土色(70%)
+ウッドブラウン(30%)

●ペリスコープ等:
クリアグリーン(70%)
+クリアブルー(30%)

●ウイパー等:
クリアオレンジ(100%)

●戦車機銃、ワイヤー等:
メタルカラーアイアン(100%)

●スコップ、斧等:
黒鉄色(100%)

●ヘッドライトの内面等:
シルバー(100%)

※メタルカラーは乾燥後に柔らかい布などで拭くことで、金属のような光沢を出す事が出来る塗料です。

MARKING

1. 使うデカールを切りとり、ぬるま湯に3秒程度浸し、ピンセットで引き上げます。
2. 台紙からデカールがすべるようになるまで待ち、表を上にしてすべらせて貼ってください。
3. 綿棒などで押して、気泡を取ってください。かわくまでは、手を触れないでください。

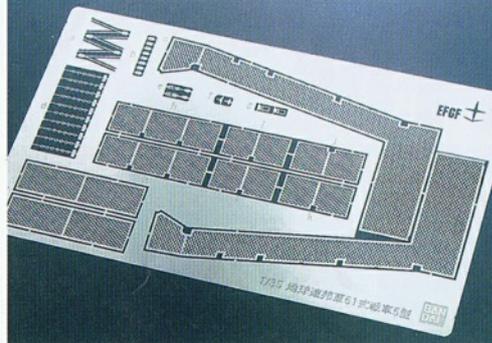
※デカールを貼る部分のキットパーツの油分を、あらかじめ中性洗剤などでふきとると一層よく密着します。
※デカールを貼るための道具(ハサミ、ピンセット、綿棒など)は、別にご用意ください。
※余ったデカールはお好みでご自由にお貼りください。

●写真の完成品は、塗装してあります。

FIGURE PAINTING

本商品はイロプラによる部品の色分けと、水転写デカールでフィギュアの基本色を再現しています。この基本色を生かし、リアルタッチマーカー（別売り）などを利用して、彫刻の凹凸に色の濃淡を加えることで、手軽にフィギュアの彩色を楽しんでいただけます。顔など肌色部分にブラウンやイエローの他、グリーン系のシャドーも加えてみるとより深みのある表現ができます。すぐにふき取れるプラスチック素材の下地を生かし、自分なりの表現を試してみてください。

※リアルタッチマーカーは株式会社GSIクレオスの登録商標です。



▲各所にエッチングパーツを使用し、精密感を表現。



16 または 15 (右側も同じ)

14 (右側は13)

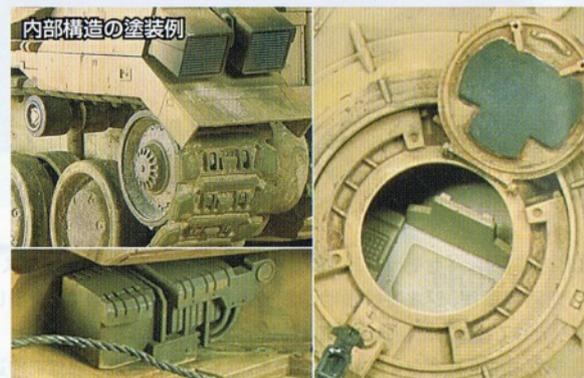


そのまま組立てて、デカールを貼った状態。大まかなフィギュアの基本色は再現されます。

[before]

マーカーなどでレタッチを行った例。彫刻の凹凸が強調され、より豊かな表情が演出できます。

[after]



内部構造の塗装例

FIGURE COLOR GUIDE

※フィギュアをよりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。

塗装する場合は使用する塗料の使用上の注意に従ってください。

※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。



〈フェデリコ・ツァリアーノ中佐〉

●ツァリアーノ 制服
グレー部:
ライトエアクラフトグレー
(100%)

●連邦制服等
レッド部:
キャラクターレッド
(60%)
+キャラクターフレッシュ(2)
(40%)

●連邦制服等
ブラック部:
つや消しブラック
(100%)

●連邦制服等
イエロー部:
イエロー-FS 13538
(100%)

●ボーチ、バッグ等
ブラウン部:
ウッドブラウン (65%)
+黄土色 (35%)



〈フランシス・マリオン大尉〉

●連邦制服等
ライトブラウン部:
RLM79サンドイエロー
(50%)
+つや消しホワイト
(50%)

●革ベスト等
ブラウン部:
ウッドブラウン (50%)
+RLM79サンドイエロー
(50%)

●ブーツ等ブラウン部:
RLM79サンドイエロー
(60%)
+つや消しブラック (20%)
+レッドブラウン (20%)

●グローブ等グレー部:
RLM79サンドイエロー
(60%)
+つや消しブラック (20%)
+つや消しホワイト (20%)

●拳銃等
メタルカラーアイアン
(100%)



〈マルコ・サン=ロザリオ曹長〉



【地球連邦軍 61式主力戦車 車体解説】一年戦争に於いて、地球連邦軍にモビルスーツが配備される以前、陸上主力兵器として君臨したのが61式主力戦車である。この戦車は、その名が示す通り、宇宙世紀0061年に制式採用されて以降、宇宙世紀0079年に出現したモビルスーツに主力兵器の王座を奪われるまでの約18年間に渡って活躍した。更に、主力を退いた後も宇宙世紀0087年頃まで使用され続けたと記録されている。

61式主力戦車が長年に亘って主力戦車たり得た理由は、その基本設計が、将来の発展性を十分に考慮されていたからにほかならない。余裕ある巨体は、バージョンアップを可能とし、全地球規模での行動力を与えた。結果、様々な用途のバリエーションや発展型、果ては、多数の現地改修型までも生み出したのである。北米大陸、東南アジア戦域、ヨーロッパ戦線、更にオデッサやジャブローなど、一年戦争全期を通じ、あらゆる戦場でその勇姿は目撃されている。

ジオン軍モビルスーツを相手に撃破される姿ばかりが語られる61式戦車だが、実際には一年戦争の戦場に於いて、地球連邦軍が対抗でき、また、信頼できる唯一の兵器と言っても過言ではない。絶大な破壊力を誇る2連装155ミリ滑腔砲は、ジオン軍モビルスーツを一撃で仕留める性能を秘めていた。多くのバリエーションの中でも、後期型の代表的存在が、地球連邦軍61式主力戦車5型であった。

制式名称：M61A5 MBT 通称：TYPE-61 5+
 全長：11.6m 車体長：9.2m 全幅：4.9m 全高：3.9m
 乗員：2名
 主砲：連装式155mm滑腔砲
 副武装：13.2mm重機関銃：M-60 HMG 7.62mm主砲同軸機関銃×2
 分隊支援機関銃：M-299

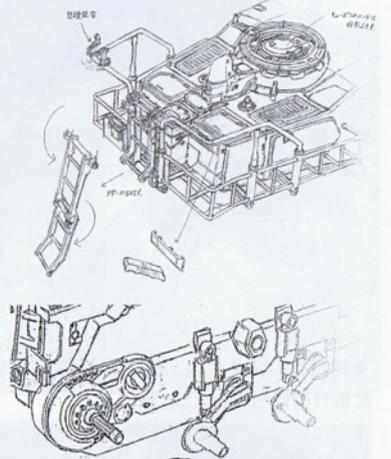
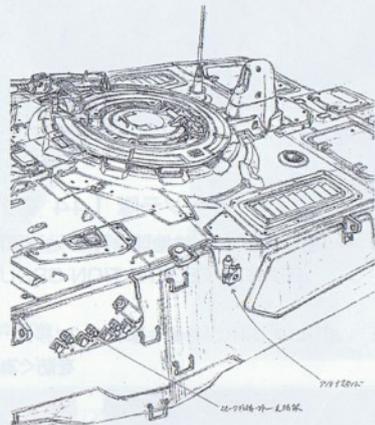
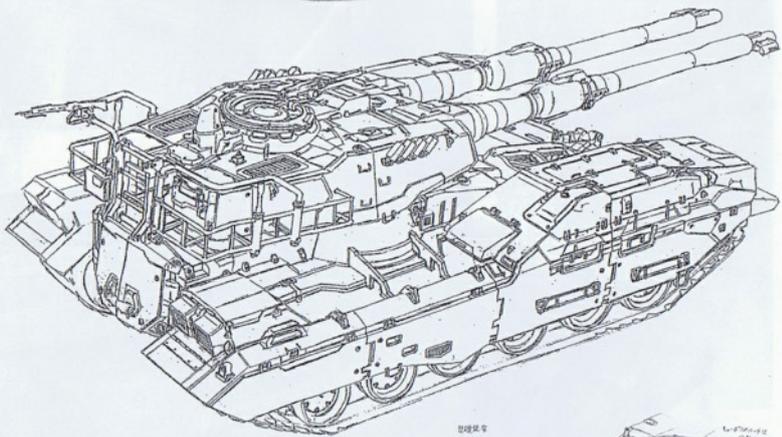
この後期型は、一年戦争を通じてヨーロッパ戦線や北米戦線にて活躍した車輌で、車体前部のフェンダーには雑具箱が設置されサイドスカートを着着しているなど、標準装備の形状が異なる。

61式主力戦車は、開発当時の最新技術を導入したハイテク兵器であった。2連装155ミリ滑腔砲への砲弾装填は、人力では不可能なために自動装填装置を採用。更に衛星とのデータリンクシステムを駆使し、他車輌と戦場のデータ共有化による長距離精密射撃が可能であった。その結果、戦車長兼砲手と操縦手のわずか2名で運用が可能となっていた。

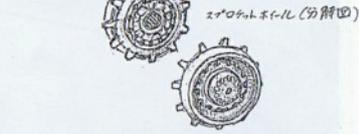
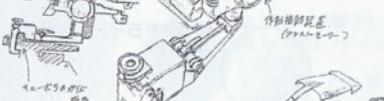
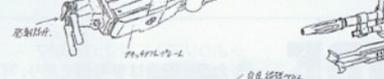
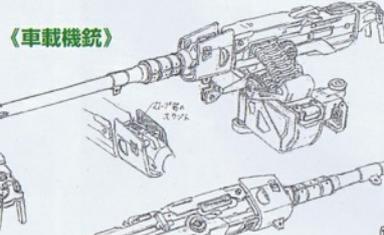
しかし、レーダーや精密機器に悪影響を及ぼすミノフスキー粒子散布下の戦いは、61式戦車の運命を暗転させた。戦闘の要であったデータリンクシステムはダウンし、ハイテクによって受けた恩恵が仇となるという、時代の皮肉を一身に集める存在となってしまったのだ。

苦境に立たされた61式戦車であったが、それでもザクⅡの装甲を撃ち抜ける火力は、地球連邦軍製モビルスーツの登場までなくてはならない戦力であり、ハイテクの翼をもがれながらも奮戦し続けたのである。

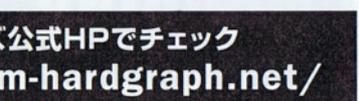
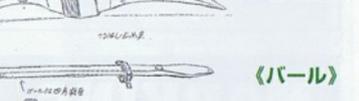
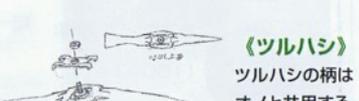
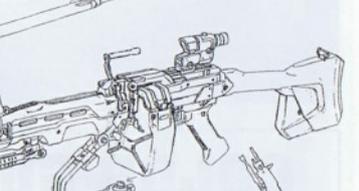
《地球連邦軍 61式主力戦車》



《砲塔 キューボラハッチ》



《スプロケットホイール》



《車載機銃》

《車載機銃架》

《M-299車載用銃架》

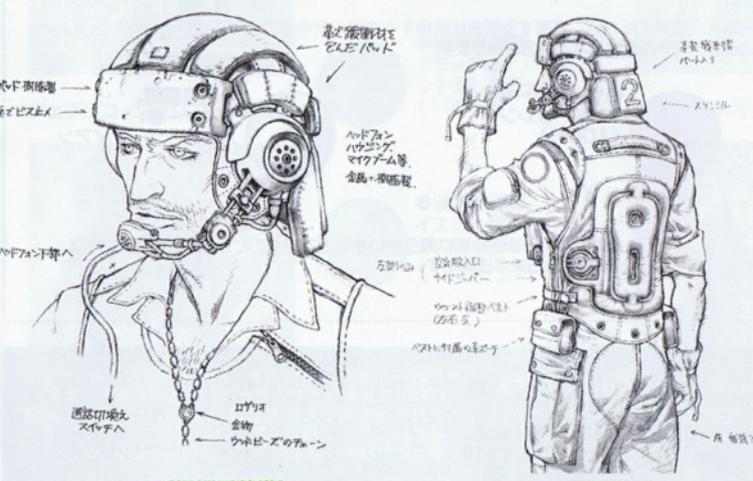
《ツルハシ》
ツルハシの柄はオノと共用する。

《シャベル》

《バール》



《ヘッドセット》



《操縦手装備》

《背面装備》

最新情報はサンライズ公式HPでチェック
<http://www.gundam-hardgraph.net/>

⚠ 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。
(鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。)
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。
窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。
窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、
お子様には絶対に与えないでください。
- 接着剤は、閉め切った室内では使用しないでください。中毒になる危険があります。

〈組み立てる時の注意〉

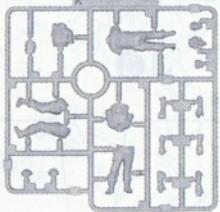
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取り
ましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用に
あたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用
してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもあり
ますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装の場合は使用する塗料の使用上の注意にしたがって
行ってください。
- 組み立ての一部に接着剤を使用する箇所があります。

パーツリスト

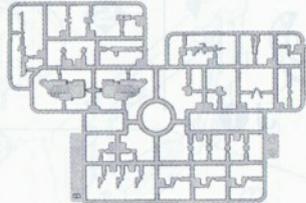
(×印は使用しないパーツです。)

※細かいパーツは破損や紛失の恐れがあります。取扱いには十分注意してください。
小さな部品を取り付ける際、ピンセット等を使用すると便利です。

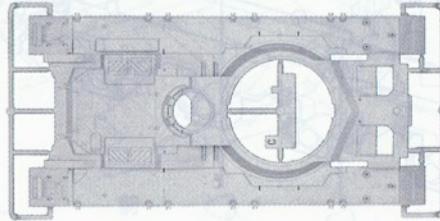
Aパーツ
(スチロール樹脂：PS)



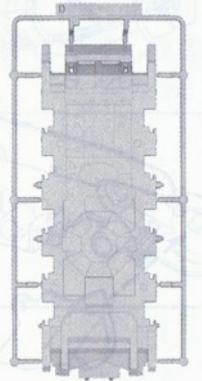
Bパーツ
(スチロール樹脂：PS)



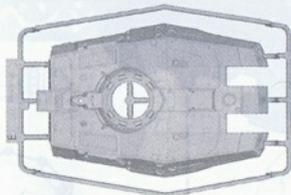
Cパーツ
(スチロール樹脂：PS)



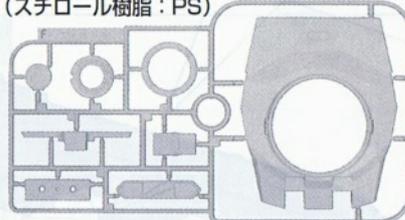
Dパーツ
(スチロール樹脂：PS)



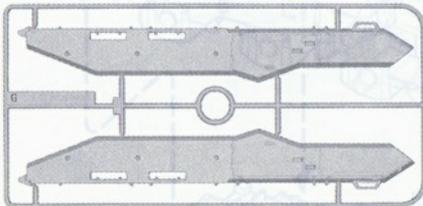
Eパーツ (スチロール樹脂：PS)



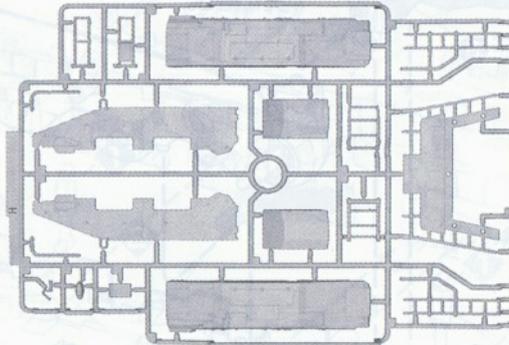
Fパーツ
(スチロール樹脂：PS)



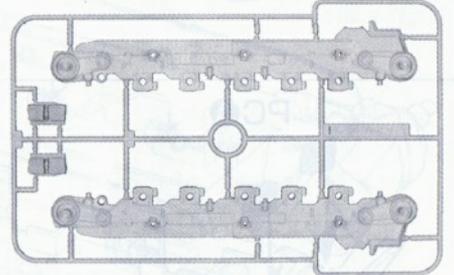
Gパーツ (スチロール樹脂：PS)



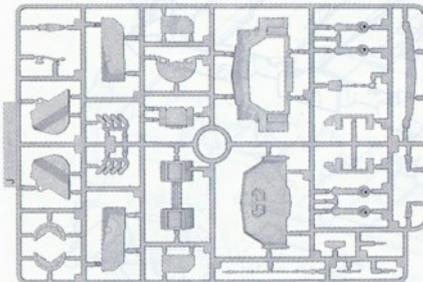
Hパーツ (スチロール樹脂：PS)



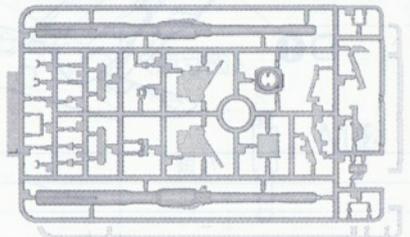
Iパーツ (スチロール樹脂：PS)



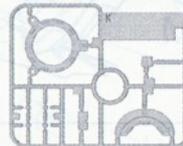
Jパーツ (スチロール樹脂：PS)



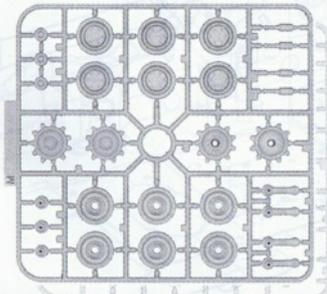
Lパーツ (×2)
(スチロール樹脂：PS)



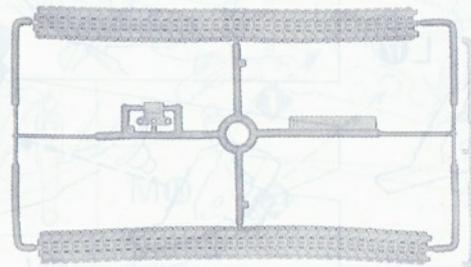
Kパーツ
(スチロール樹脂：PS)



Mパーツ (×2)
(スチロール樹脂：PS)



Nパーツ (×2)
(合成ゴム)



〈PC-5〉
(ポリエチレン：PE)



- 金属シャフト……………4
- 水転写デカル……………1
- エッチングパーツ…1
- ワイヤー……………2
(ナイロン樹脂：PA)

〈矢印について〉

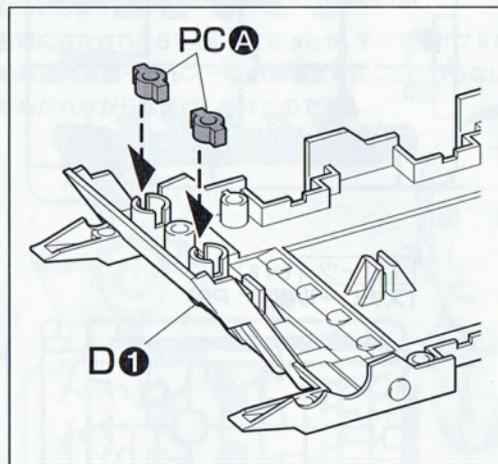
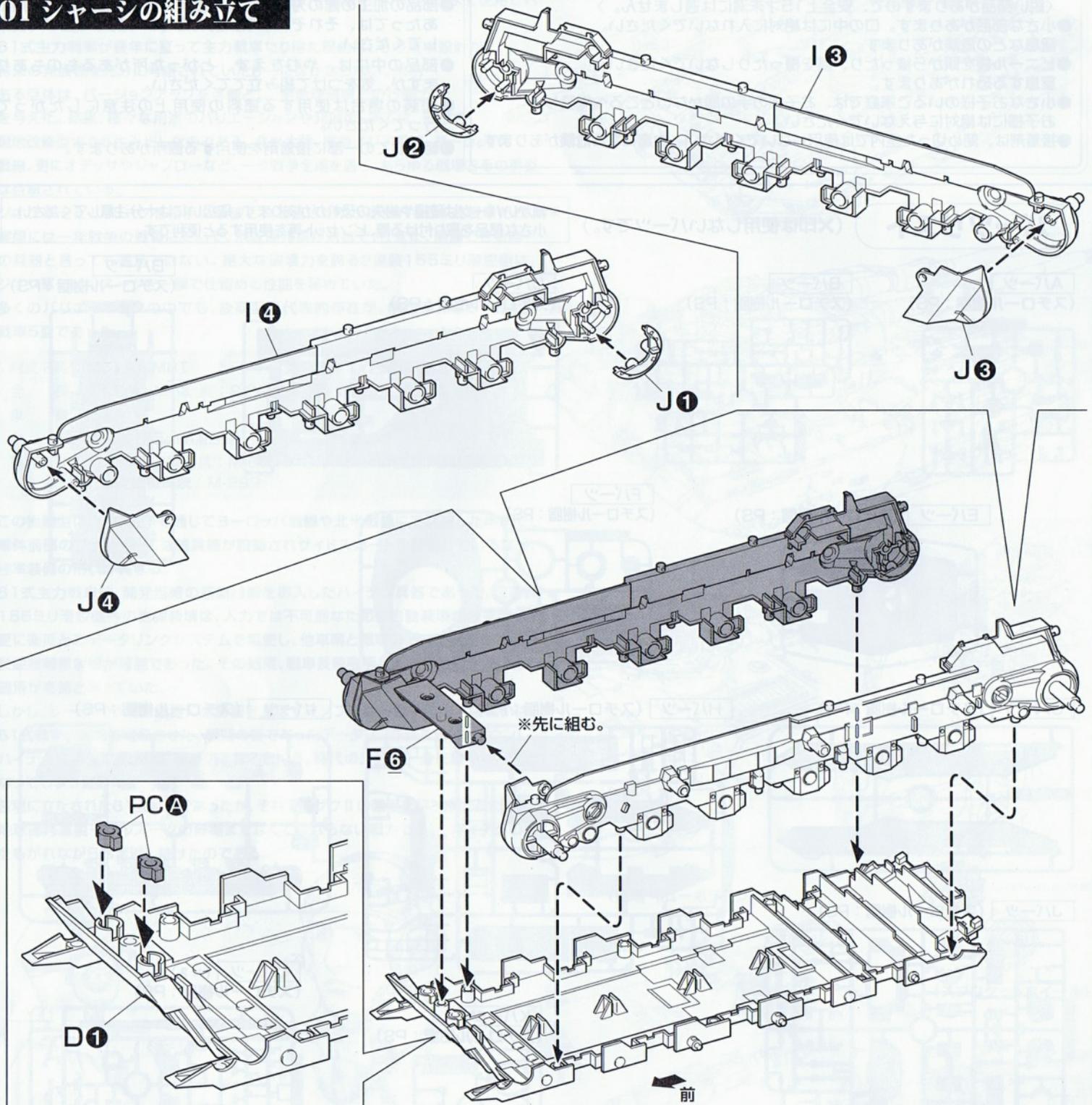
← 接着します。

← 接着しません。

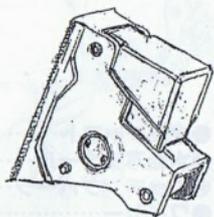
〈パーツ番号について〉

・() 内の番号は、
反対側のパーツです。

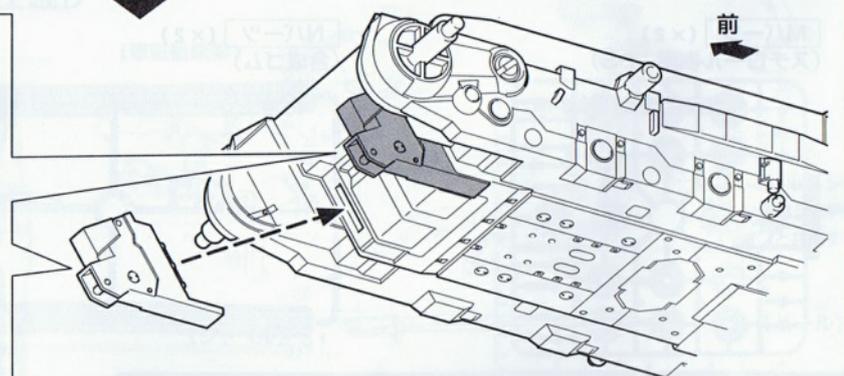
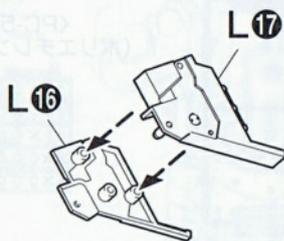
01 シャーシの組み立て



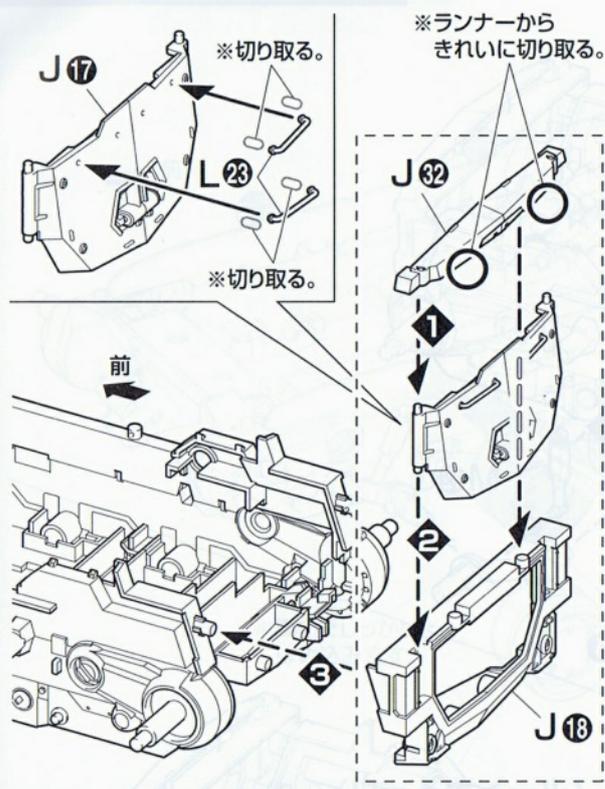
〈ディテール参考用画稿〉



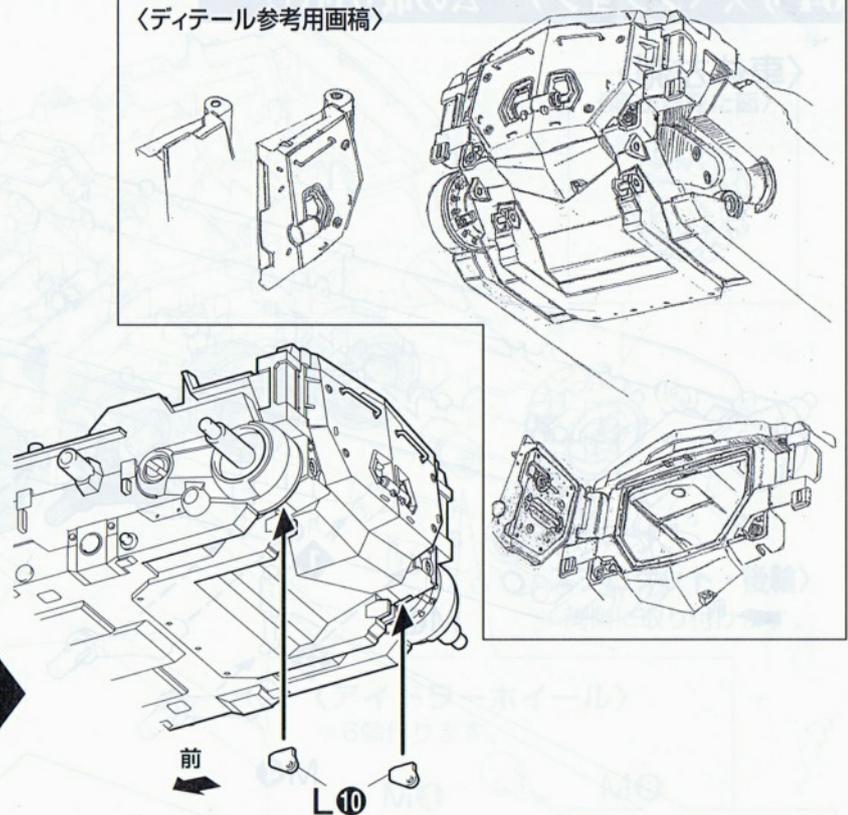
※2個作ります。



02 リアパネルの組み立て

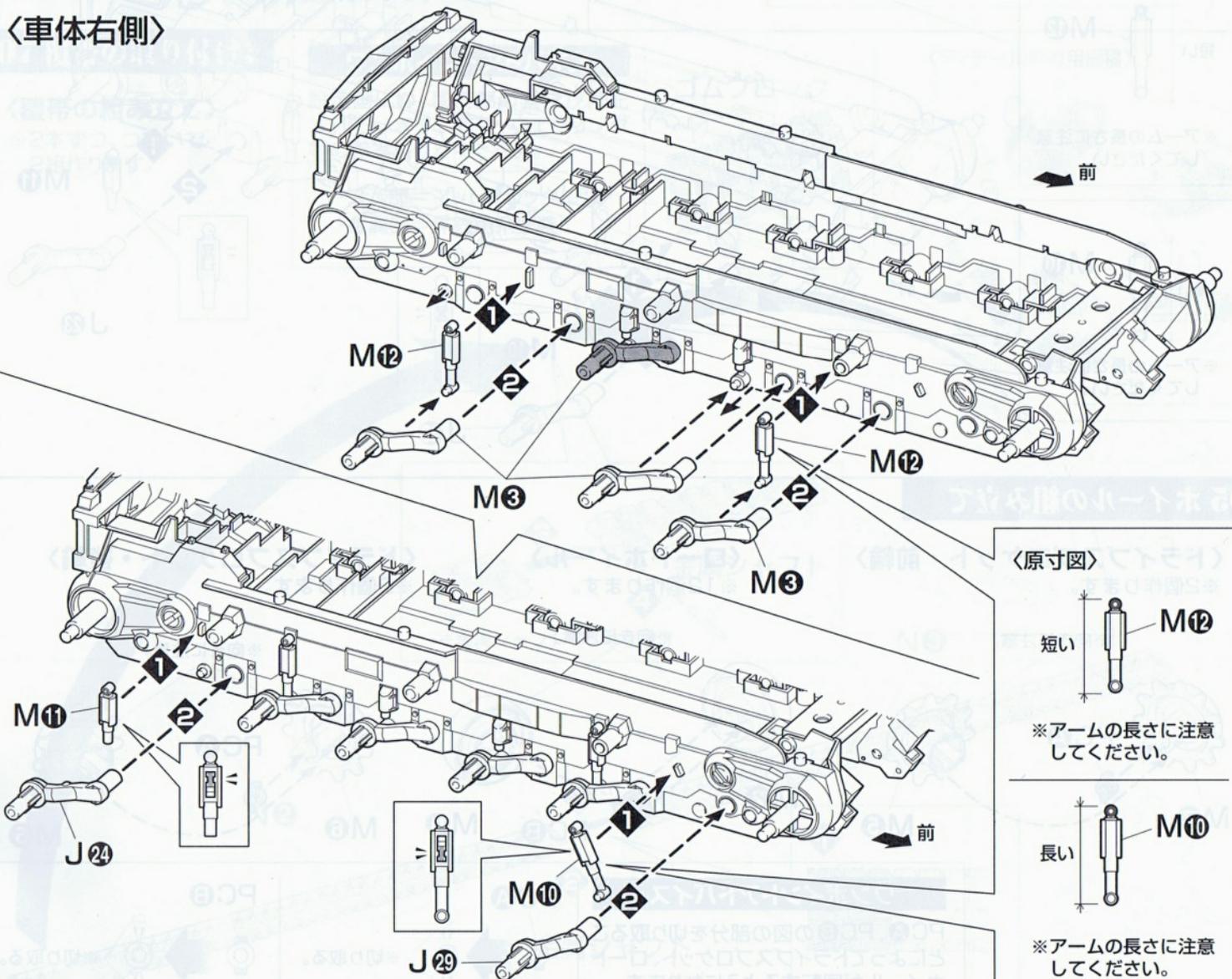


〈ディテール参考用画稿〉

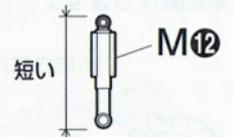


03 サスペンションアームの取り付け1

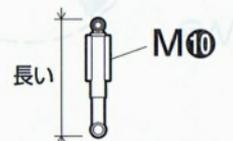
〈車体右側〉



〈原寸図〉



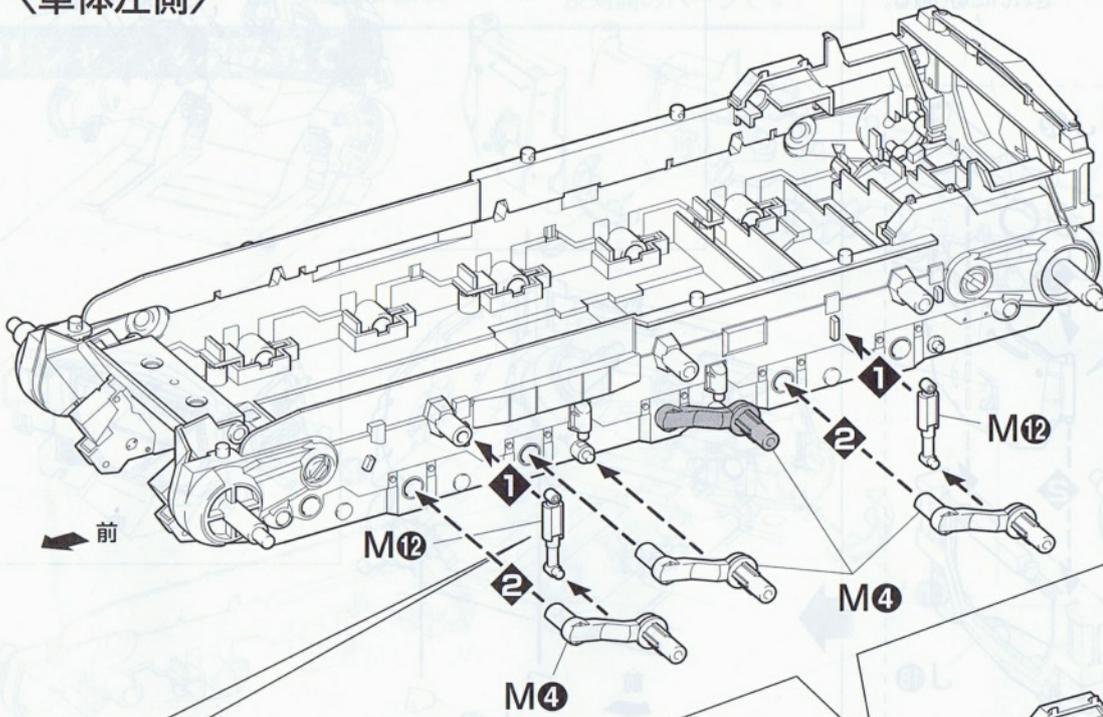
※アームの長さに注意してください。



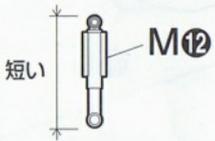
※アームの長さに注意してください。

04 サスペンションアームの取り付け2

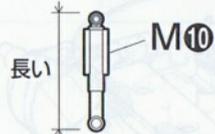
〈車体左側〉



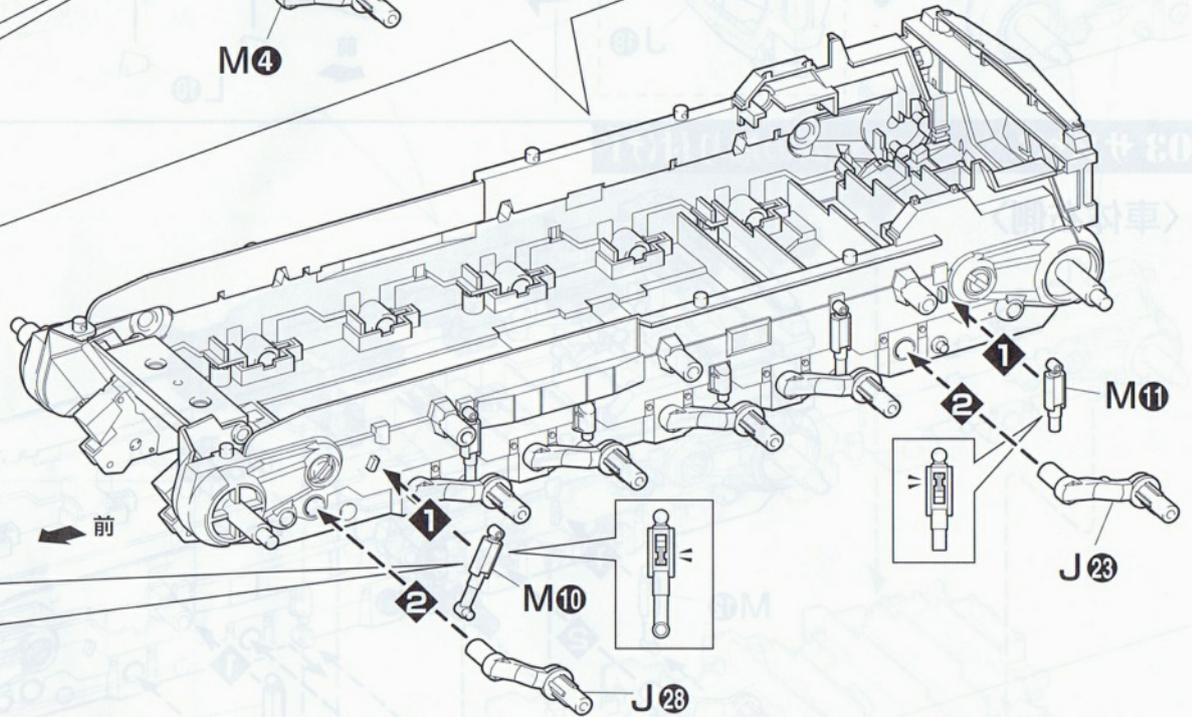
〈原寸図〉



短い M12
※アームの長さに注意してください。



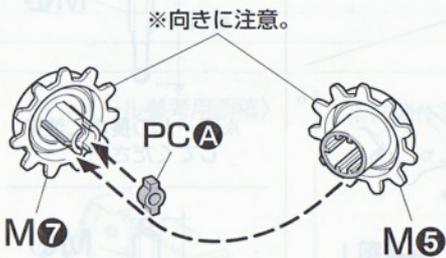
長い M10
※アームの長さに注意してください。



05 ホイールの組み立て

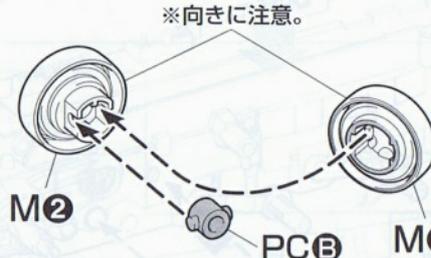
〈ドライブsprocket・前輪〉

※2個作ります。



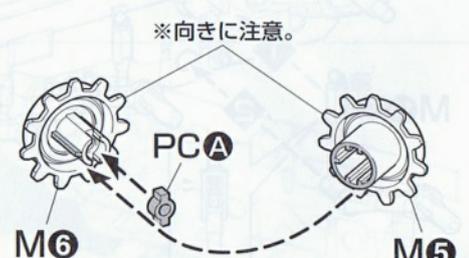
〈ロードホイール〉

※12個作ります。



〈ドライブsprocket・後輪〉

※2個作ります。



ワンポイントアドバイス

PCA、PCBの図の部分を取り除くことによってドライブsprocket、ロードホイールが回転するようになります。

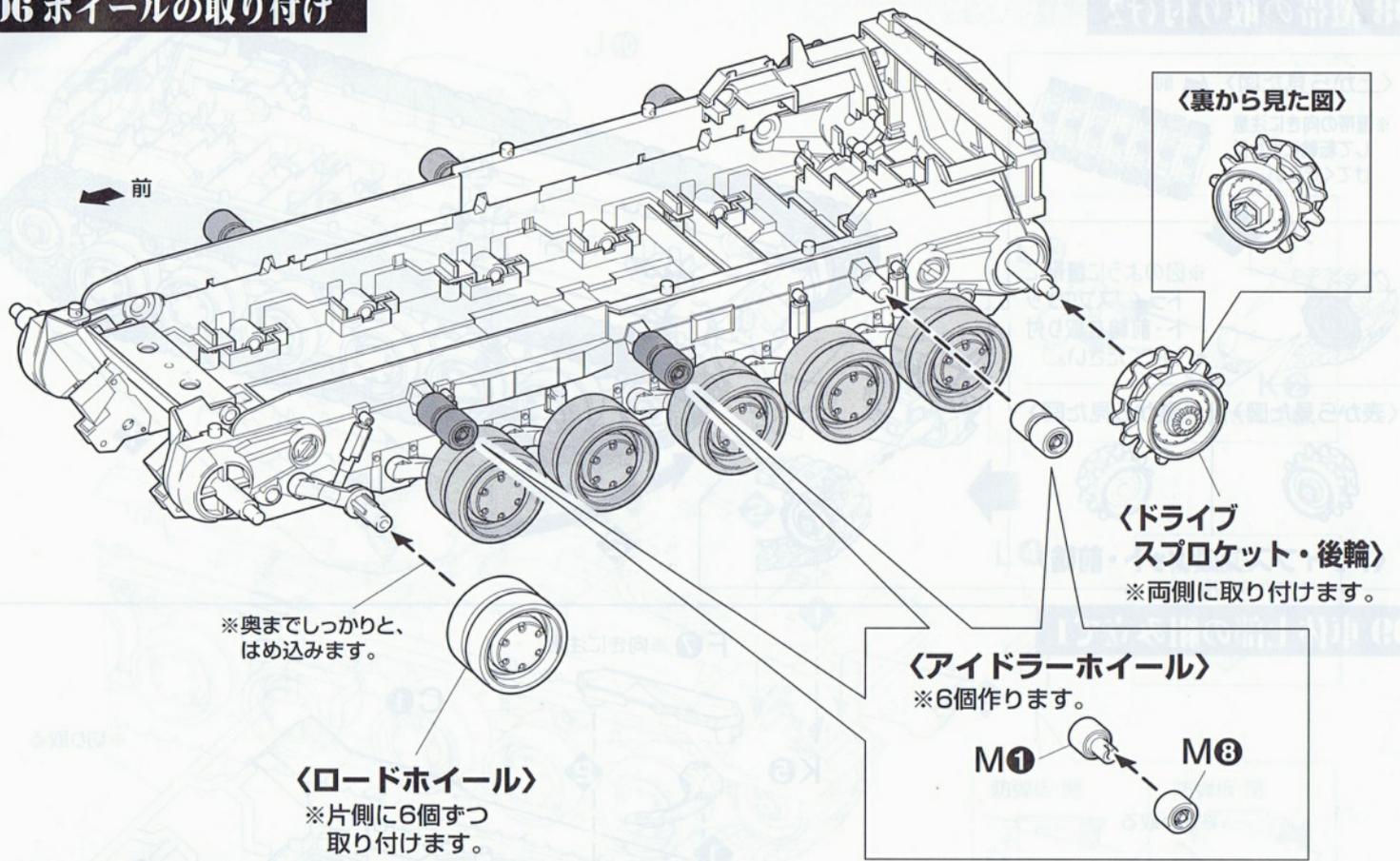
PCA



PCB



06 ホイールの取り付け



07 覆帯の取り付け1

〈覆帯の組み立て〉

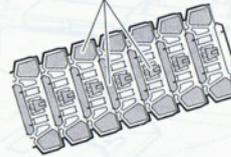
※2本ずつ、つないで
2組作ります。

ワンポイントアドバイス

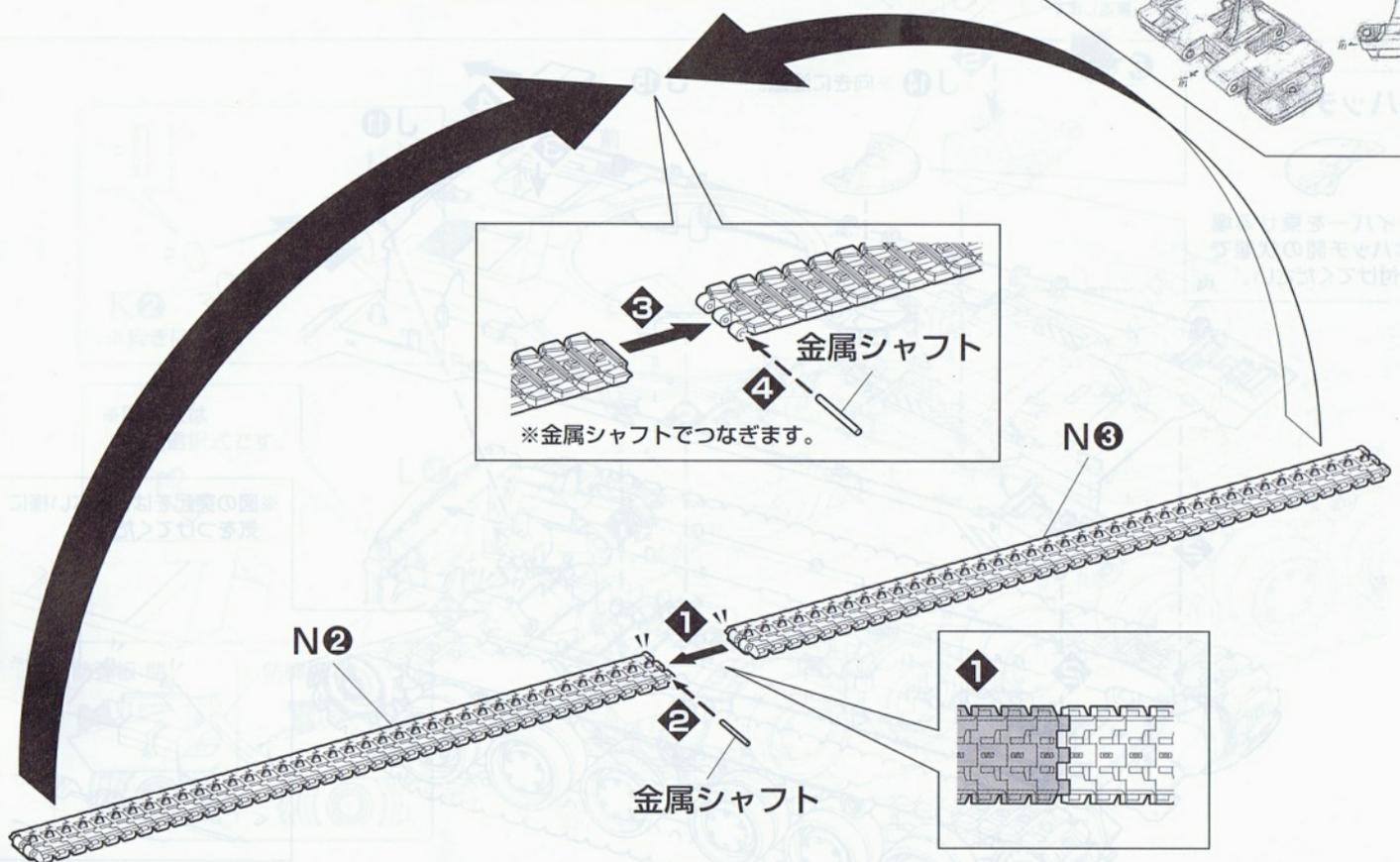
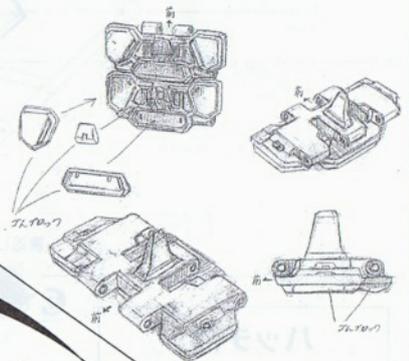
設定画には、覆帯部の素材が表記
されています。塗装、ウェザリング
等の参考にしてください。

- ・ゴム部=マットブラック塗装
- ・金属部=黒鉄色系塗装

ゴムブロック



〈ディテール参考用画稿〉

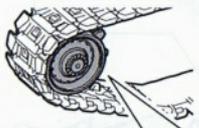


08 覆帯の取り付け2

〈上から見た図〉

← 前

※覆帯の向きに注意して転輪に取り付けてください。



※図のように覆帯にドライブプロケット・前輪を取り付けてください。

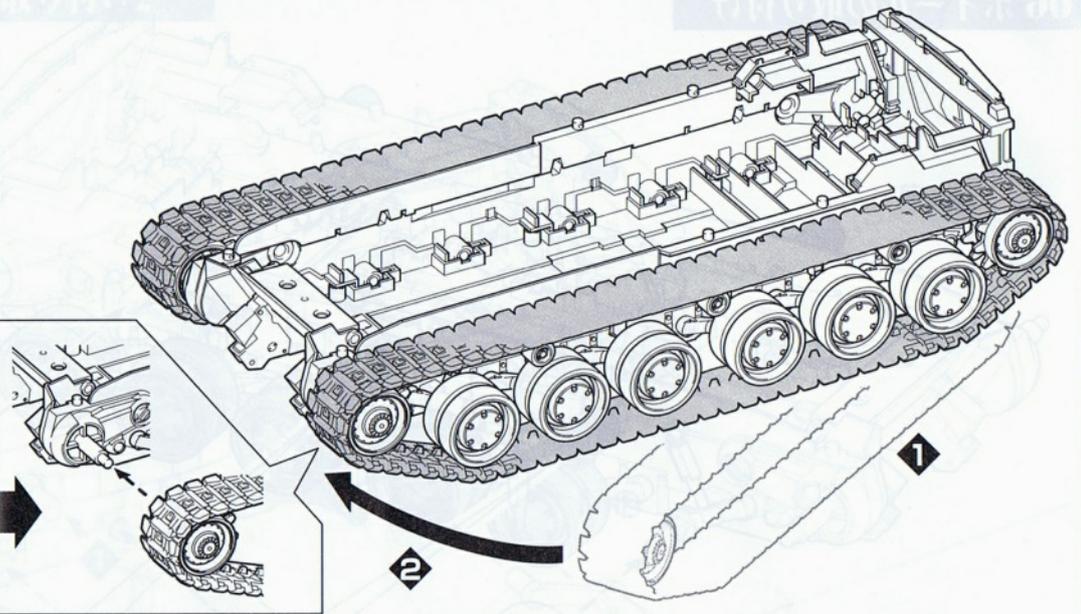
〈表から見た図〉



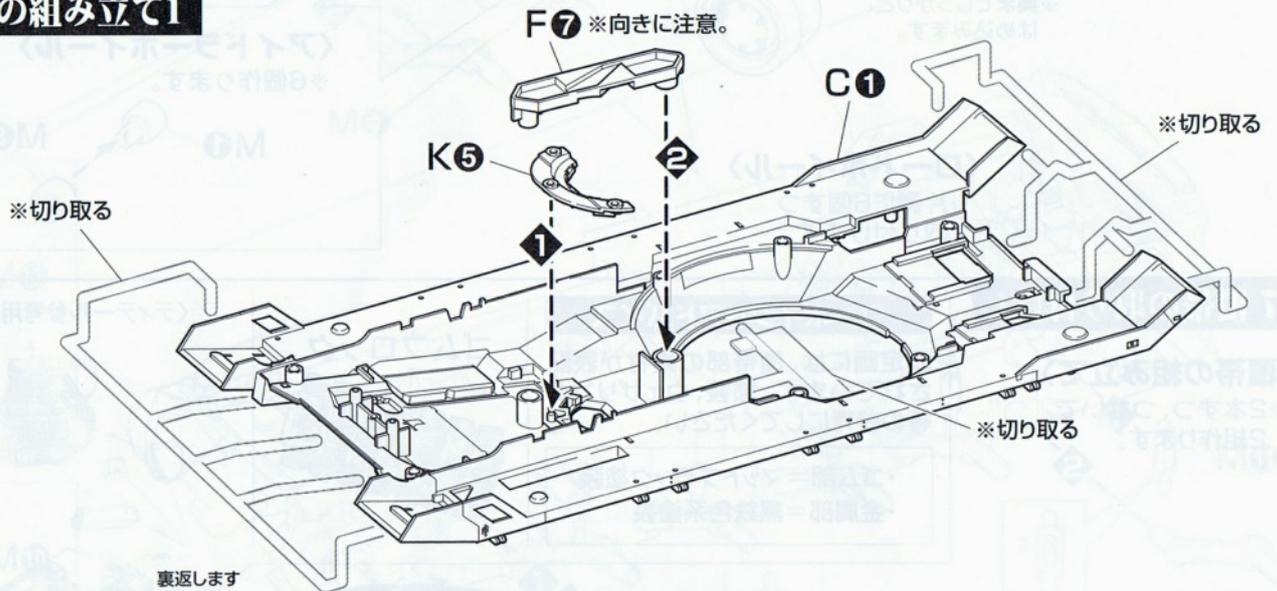
〈裏から見た図〉



〈ドライブプロケット・前輪〉



09 車体上部の組み立て1



ハッチ開

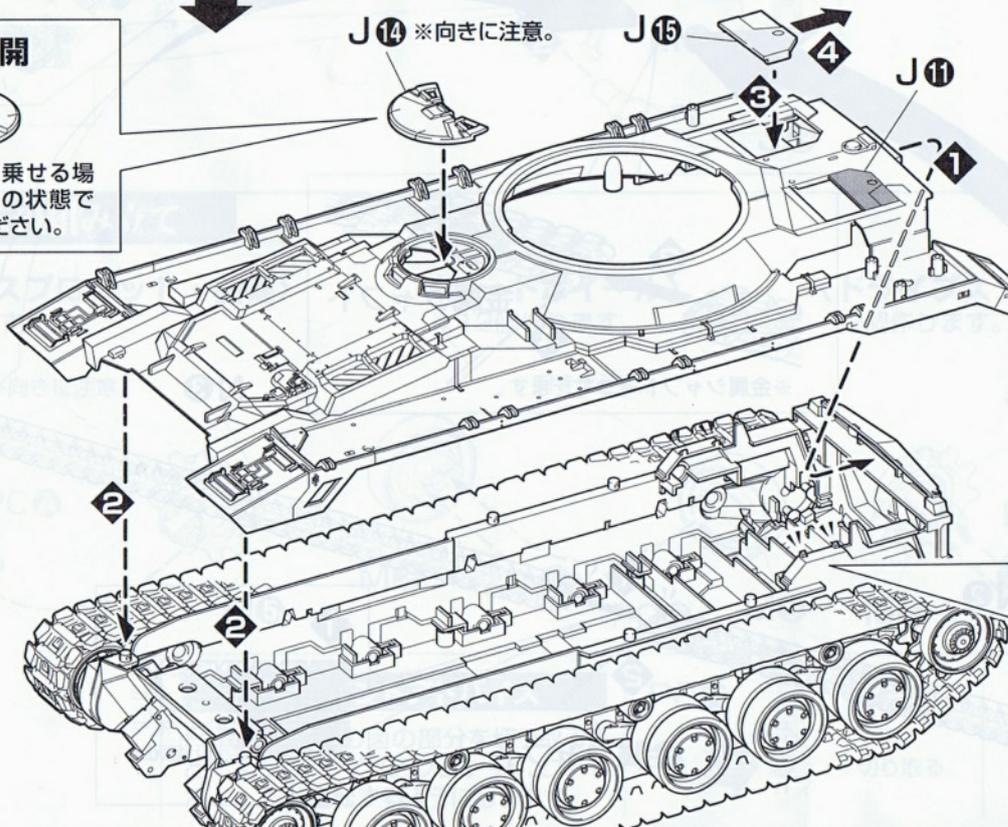


※ドライバーを乗せる場合はハッチ開の状態に取り付けてください。

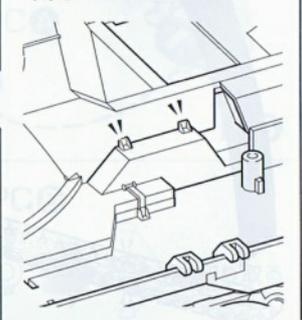
J14 ※向きに注意。

J15

J11



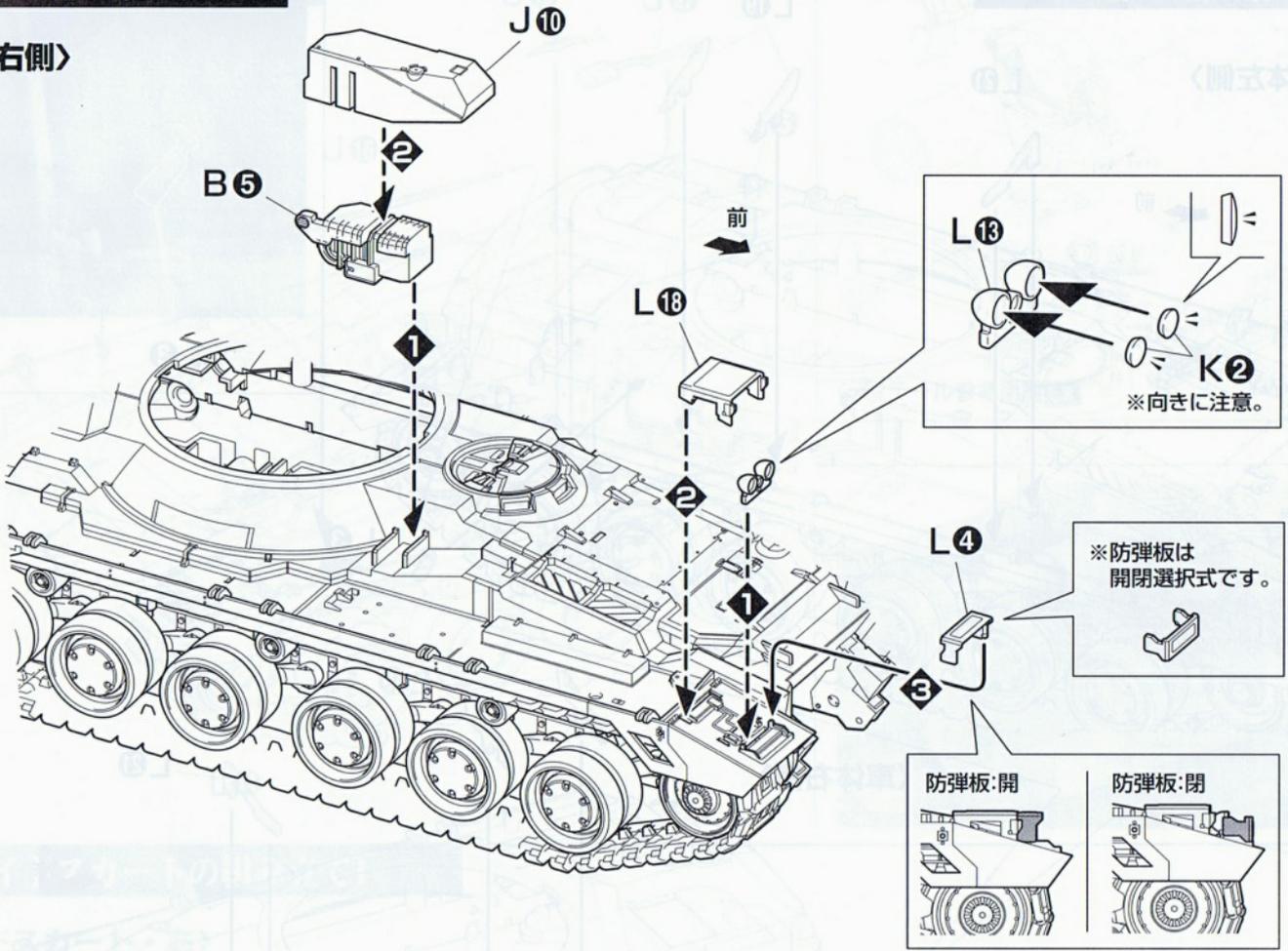
※図の突起をはさまない様に気をつけてください。



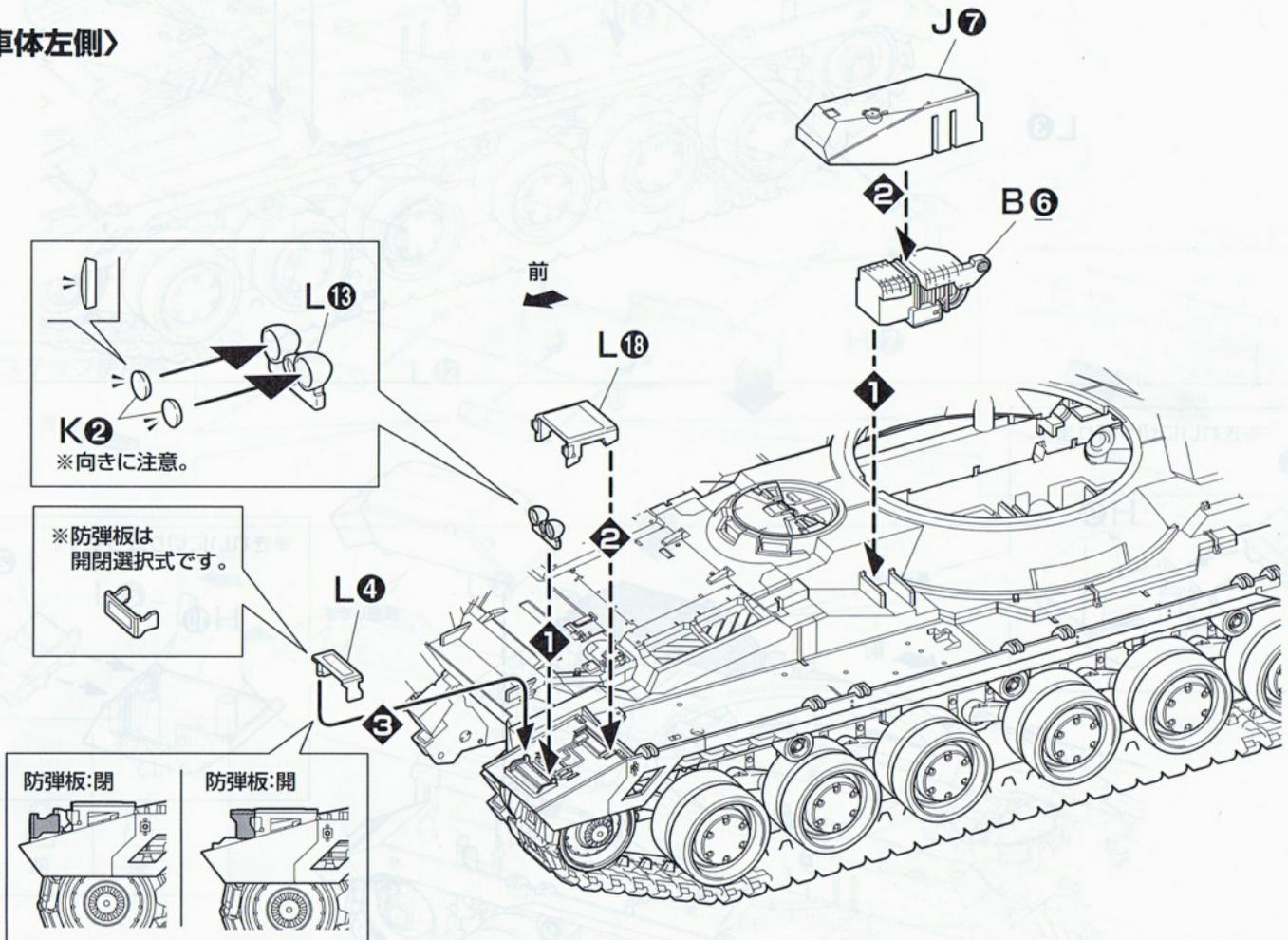
10 車体上部の組み立て2

10 車体上部の組み立て2

〈車体右側〉

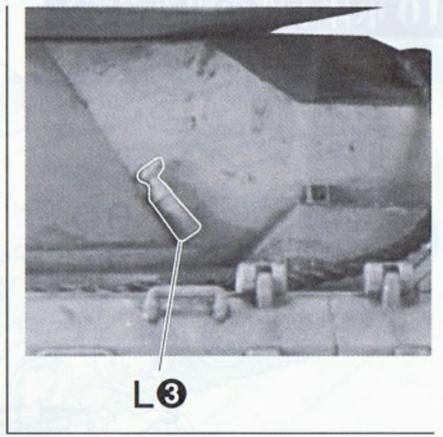
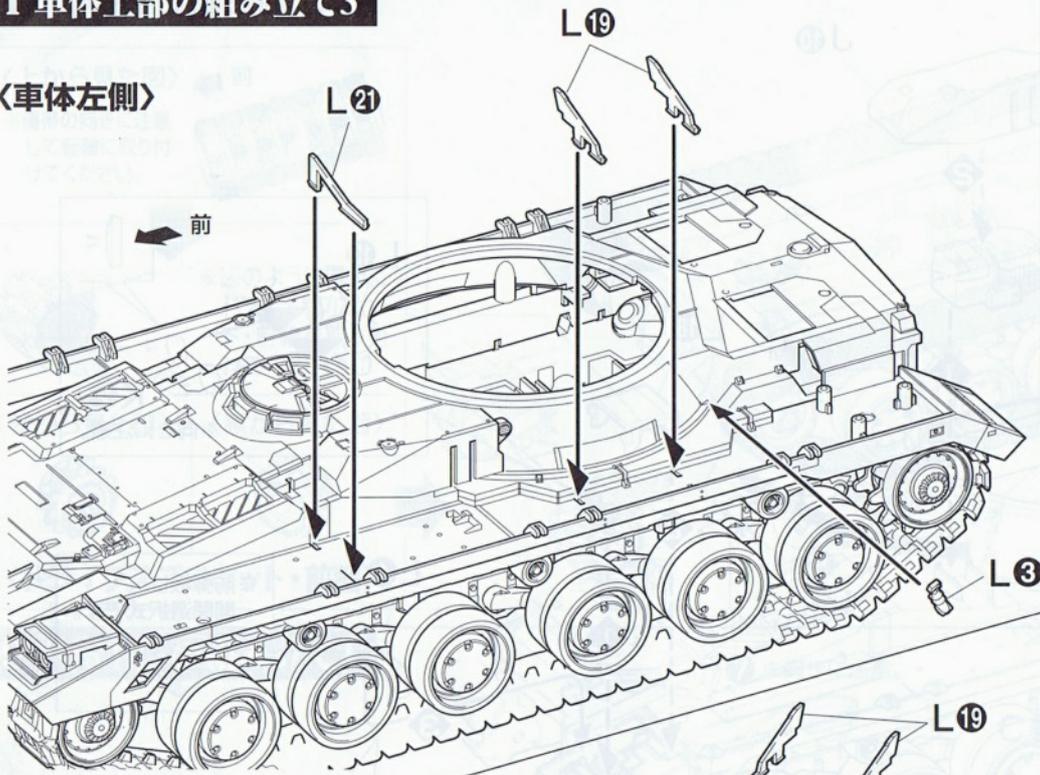


〈車体左側〉

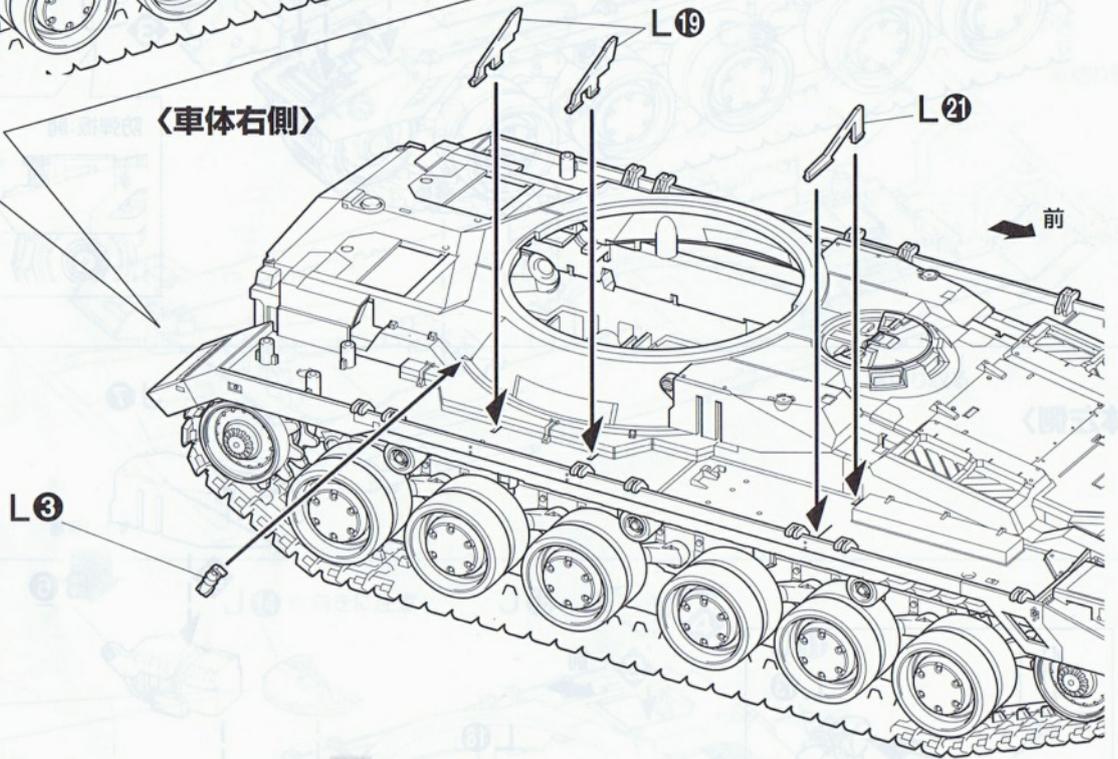


11 車体上部の組み立て3

〈車体左側〉



〈車体右側〉

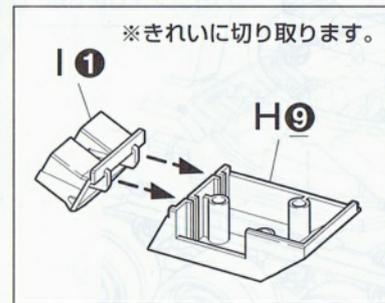


※きれいに切り取ります。

I ①

H ⑨

裏返します

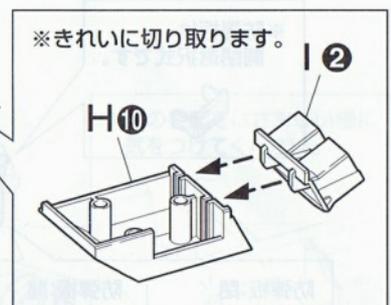


※きれいに切り取ります。

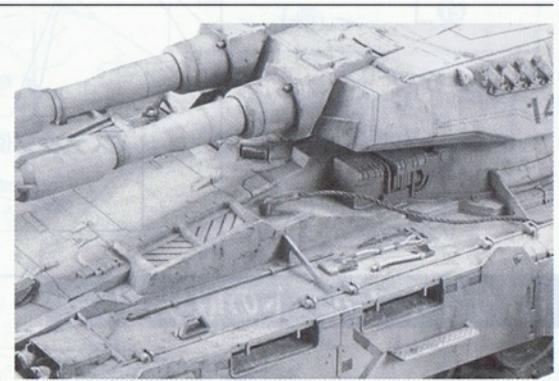
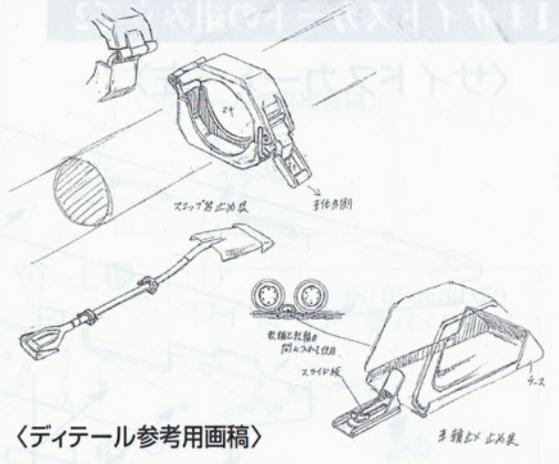
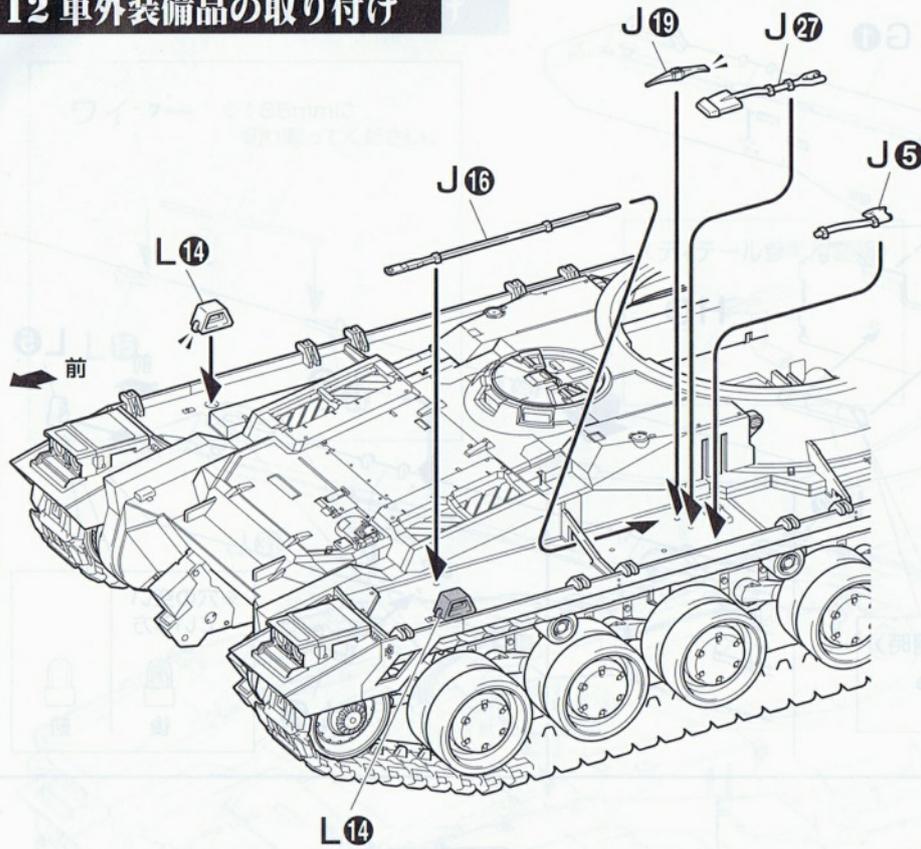
I ②

H ⑩

裏返します



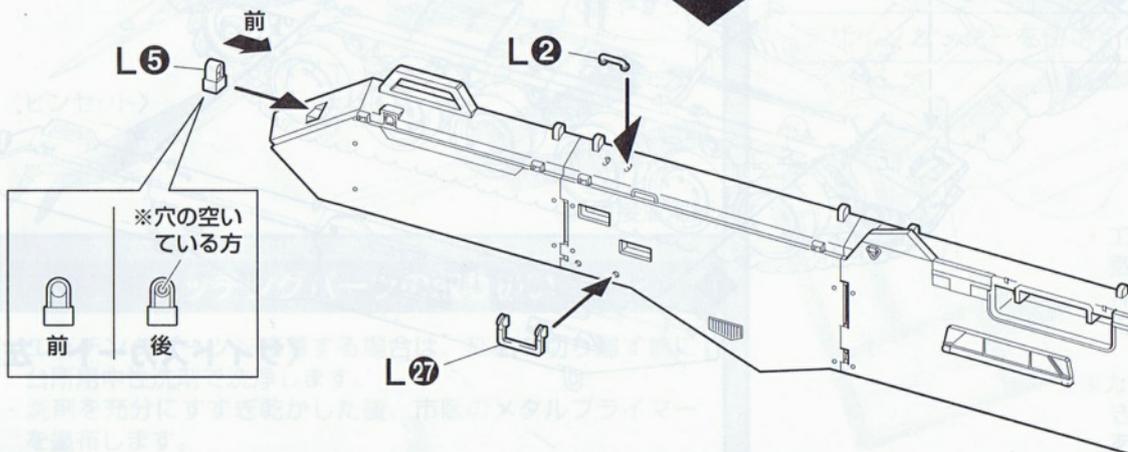
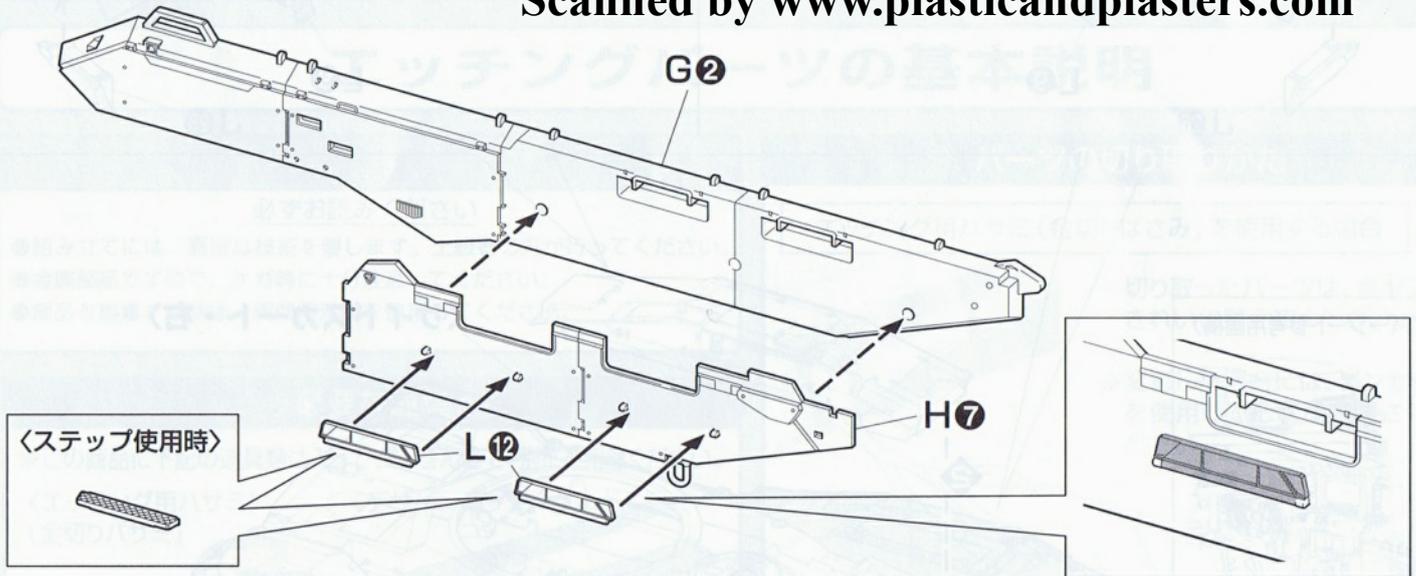
12 車外装備品の取り付け



13 サイドスカートを組み立て1

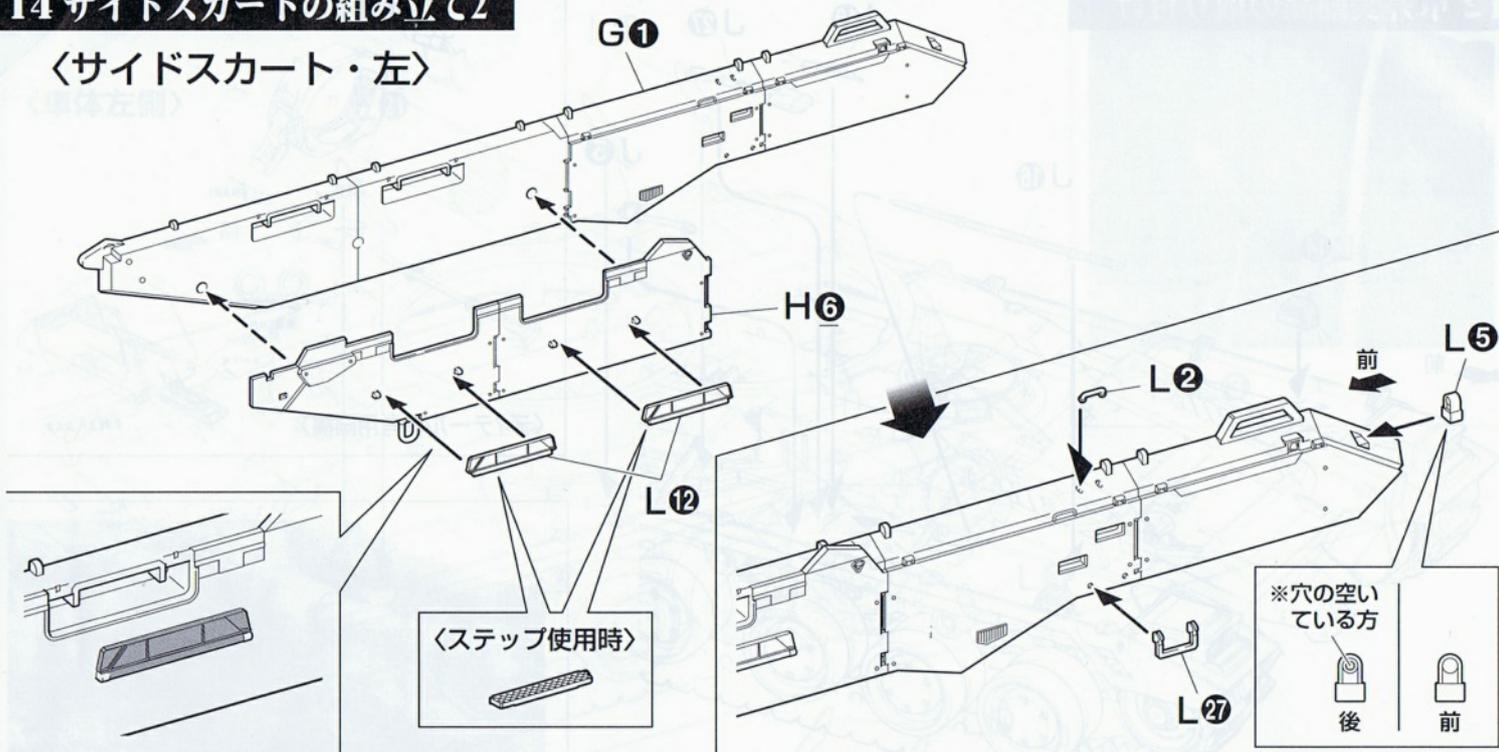
〈サイドスカート・右〉

Scanned by www.plasticandplasters.com

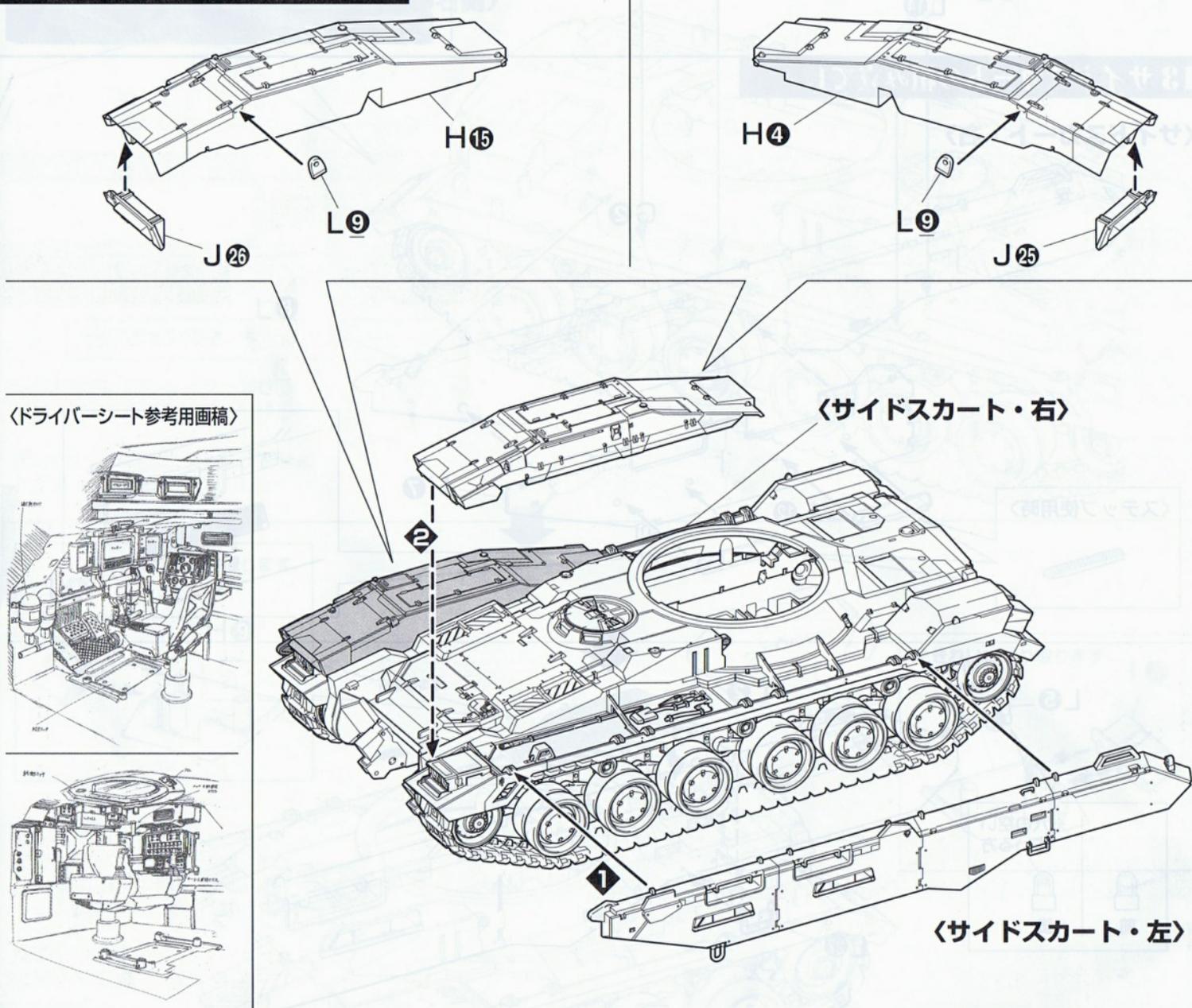


14 サイドスカートを組み立て2

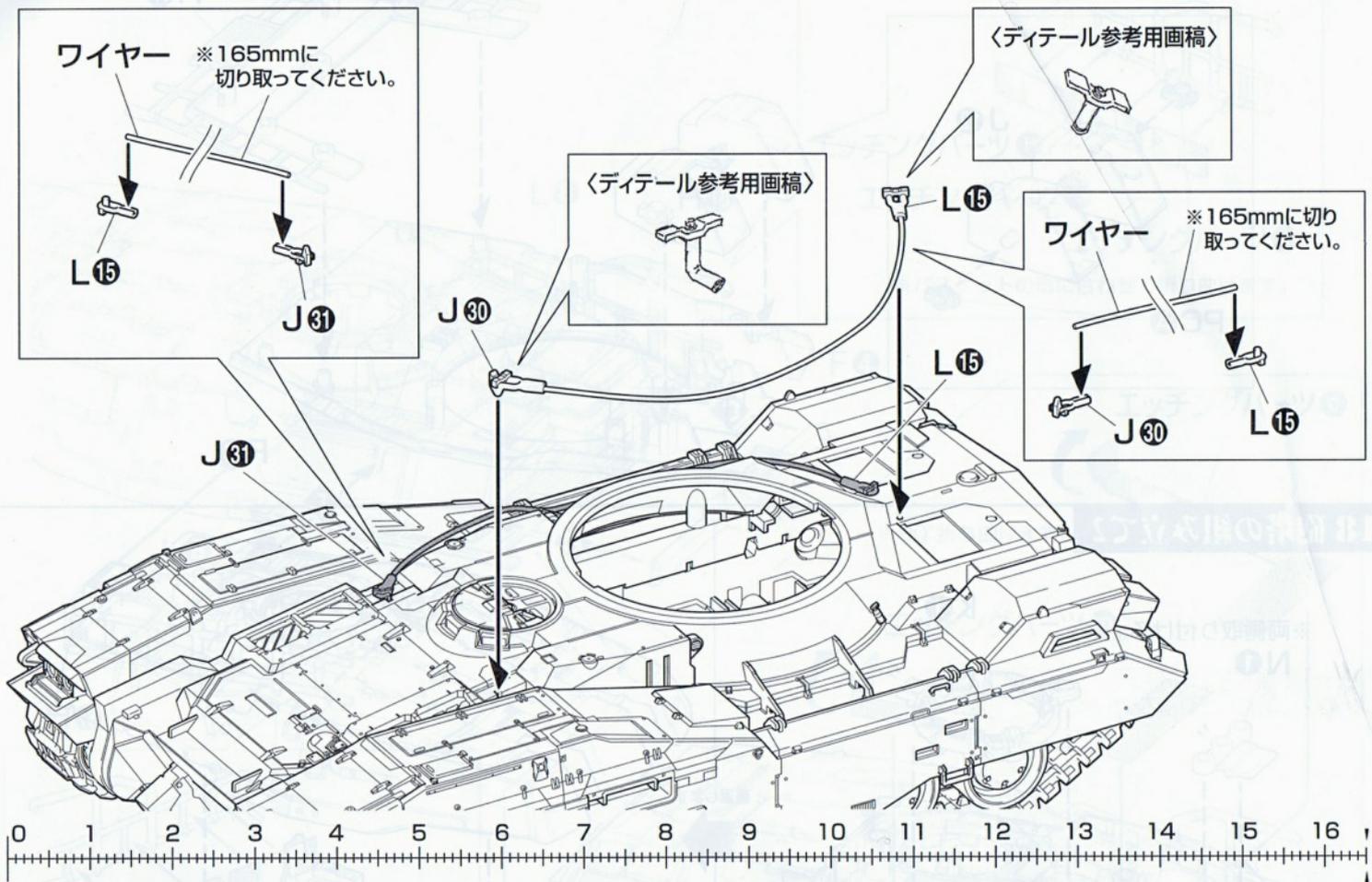
〈サイドスカート・左〉



15 サイドスカートの取り付け



16 ワイヤロープの取り付け



エッチングパーツの基本説明

△ 注意

必ずお読みください

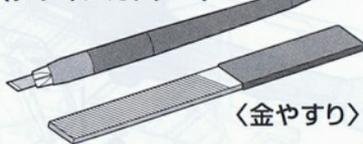
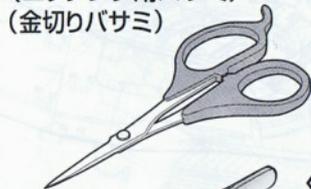
- 組み立てには、高度な技術を要します。上級者の方が行ってください。
- 金属部品ですので、ケガ等に十分注意してください。
- 部品を接着する時は、瞬間接着剤を使用してください。

必要な道具

※この商品に下記の道具類は入っていませんので、別にご用意ください。

〈エッチング用ハサミ〉
(金切りハサミ)

〈デザインカッター〉



〈金やすり〉

〈ピンセット〉

〈エッチングベンダー〉
(ラジオペンチ)



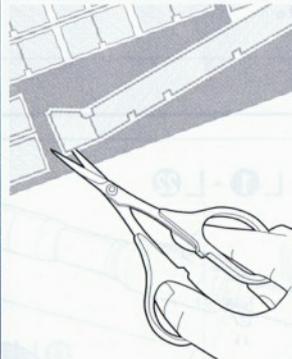
〈瞬間接着剤〉

エッチングパーツの取り扱い

- エッチングパーツを接着する場合は、部品を切り離す前に台所用中性洗剤で洗浄します。
- 洗剤を十分にすすぎ乾かした後、市販のメタルプライマーを塗布します。

パーツの切り取りかた

・エッチング用ハサミ(金切りばさみ)を使用する場合



・切り取ったパーツは、金ヤスリできれいに整えてください。

※変形した場合には、ピンセット等を使用して形状を復帰させてください。

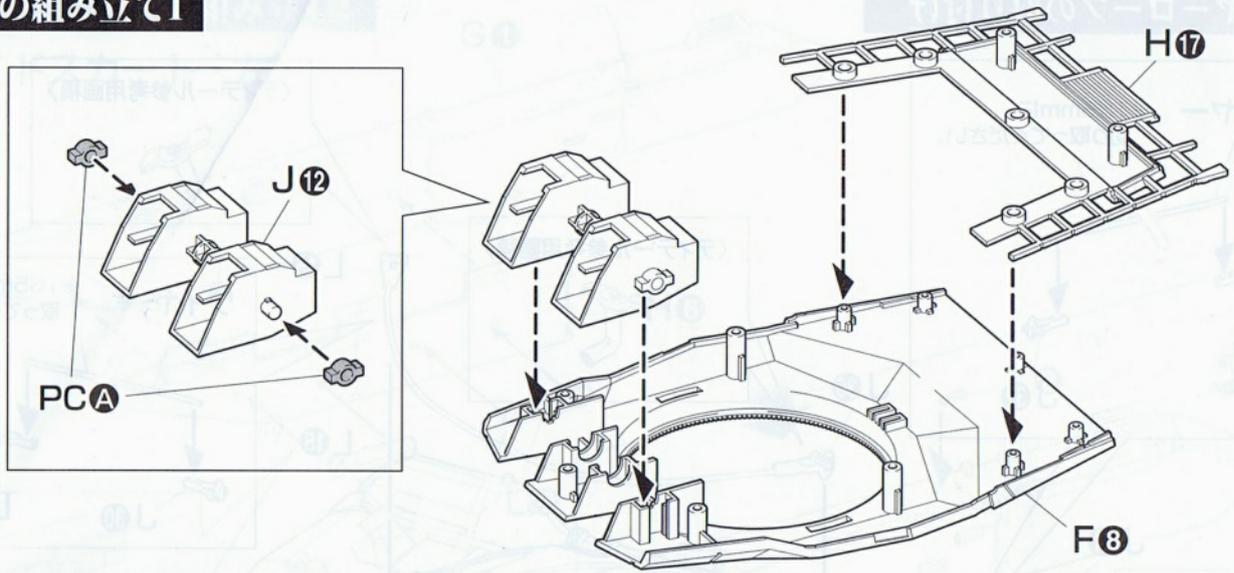
・デザインカッターを使用する場合



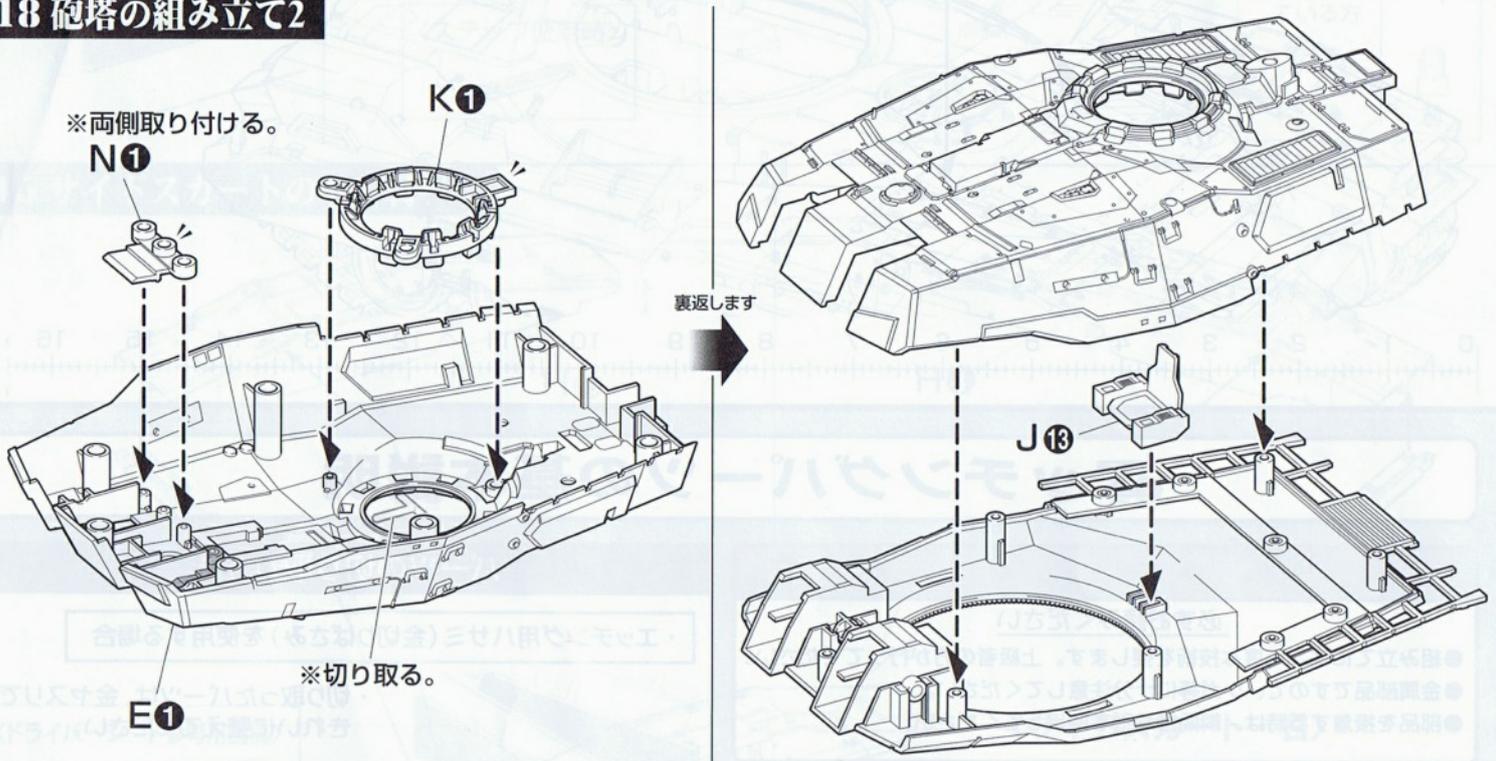
・エッチングの下に硬い板などを敷き、切断部に刃先をあわせて押し切ってください。(刃先はこまめに取り替えてください。)

※カッターマット等の柔らかい下敷きを使用すると、変形する事があります。

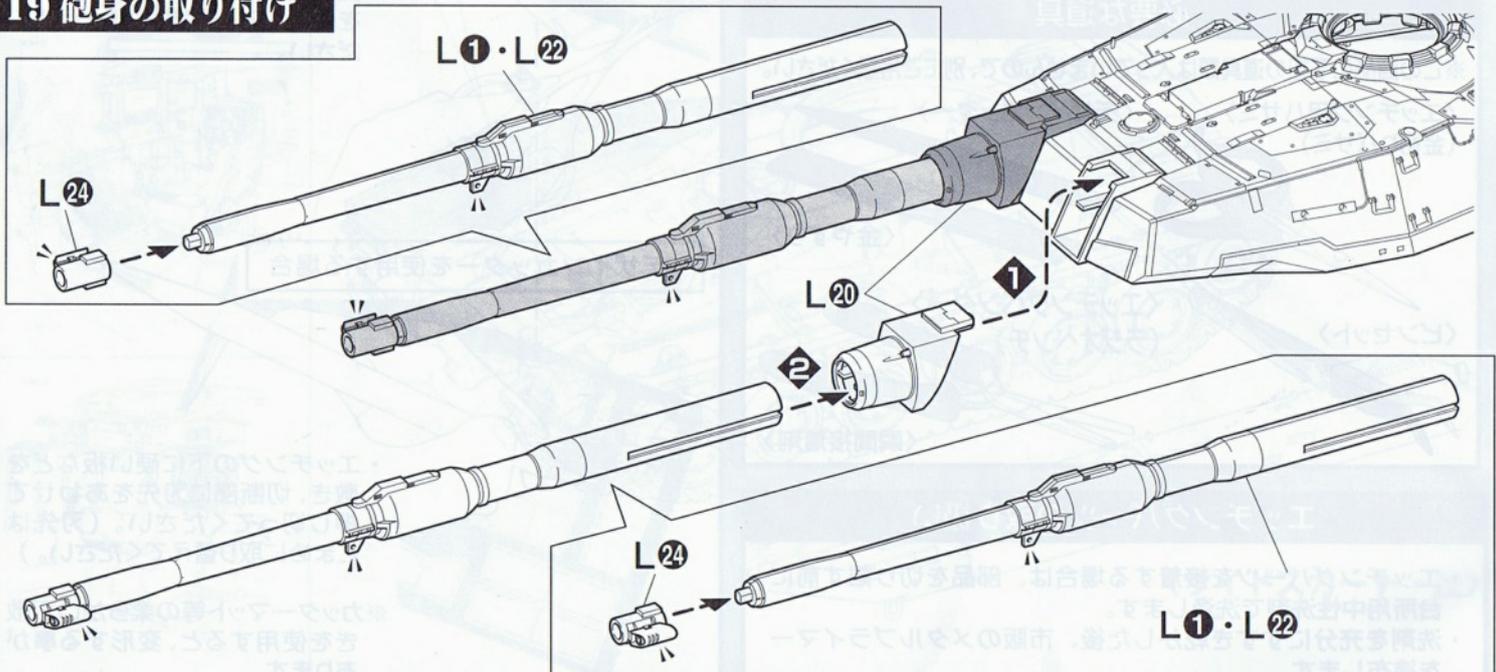
17 砲塔の組み立て1



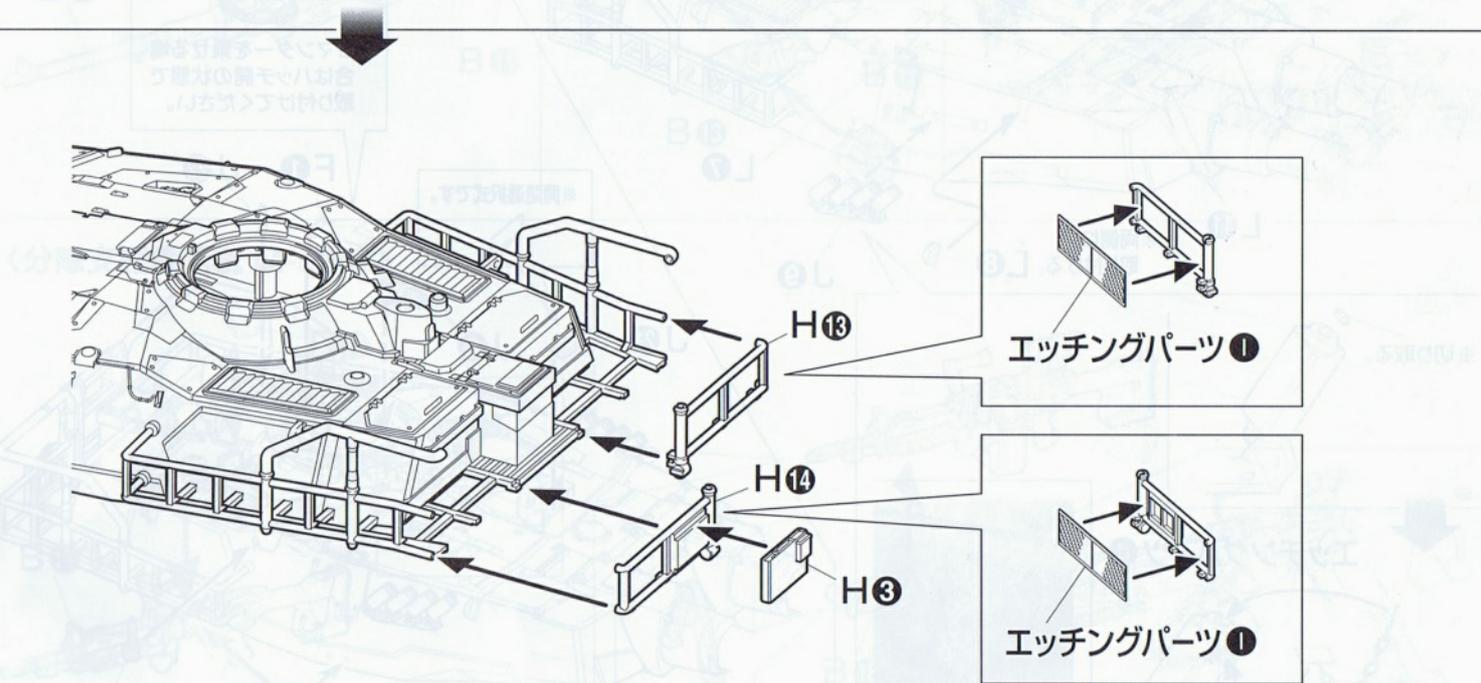
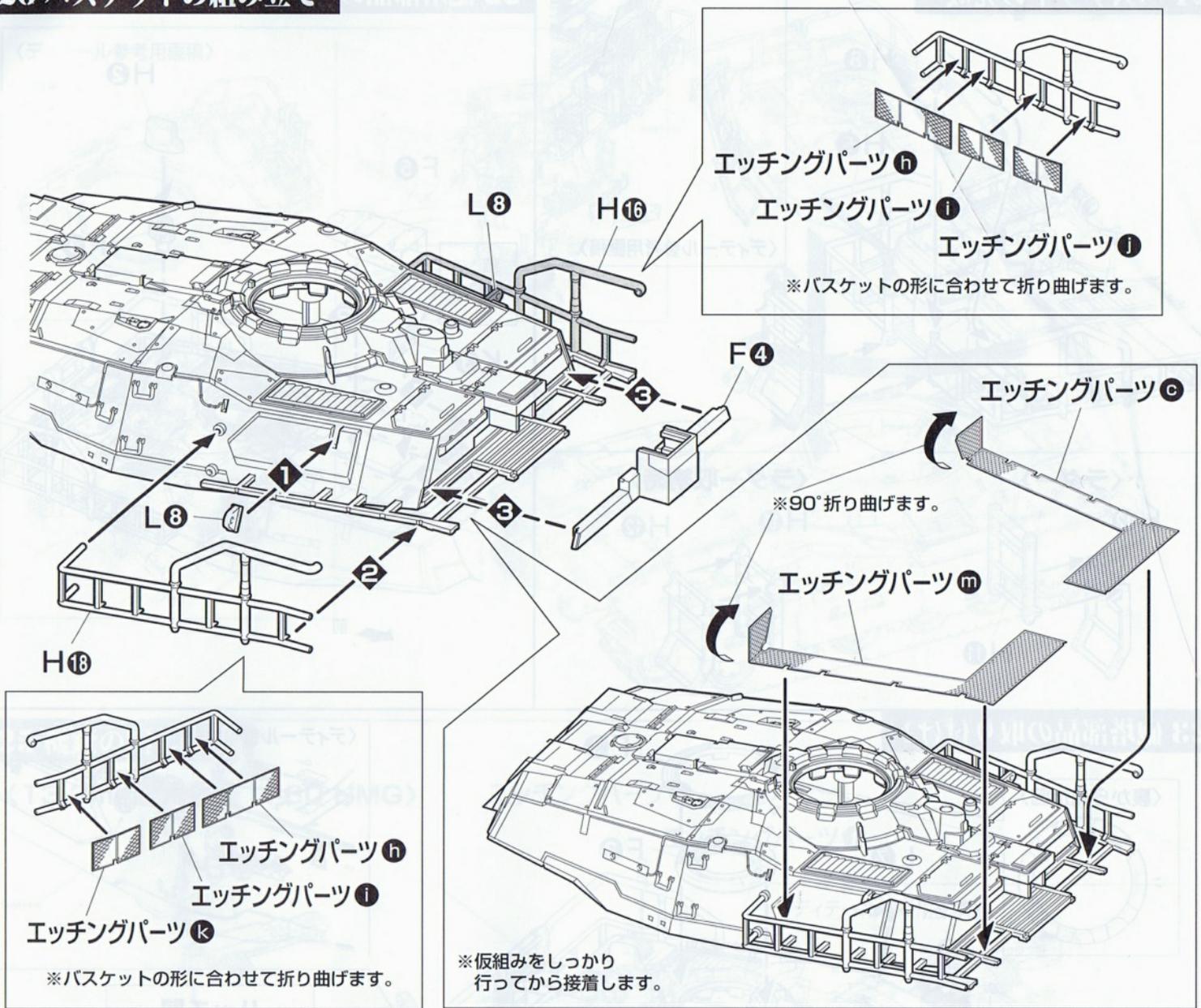
18 砲塔の組み立て2



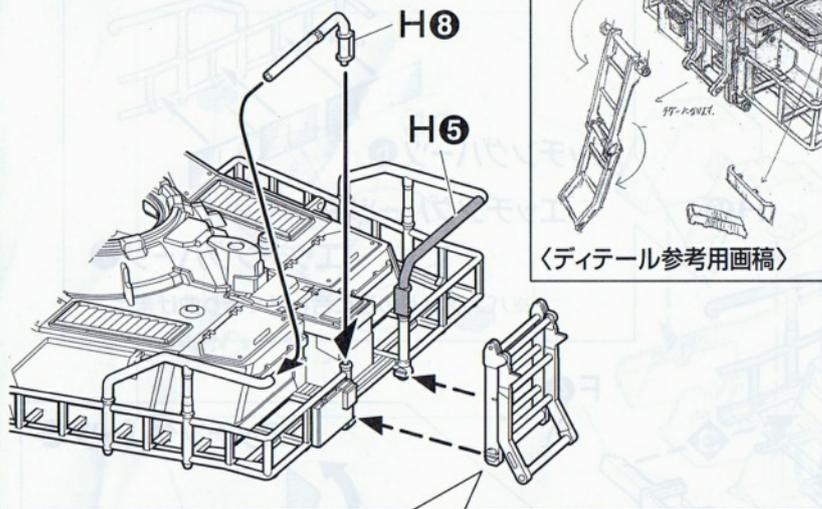
19 砲身の取り付け



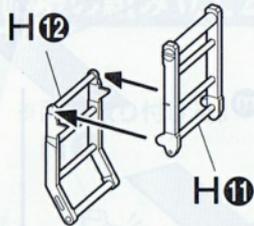
20 バスケットの組み立て



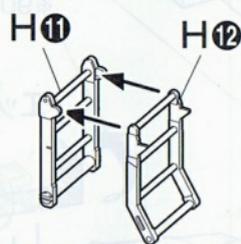
21 バスケットの完成



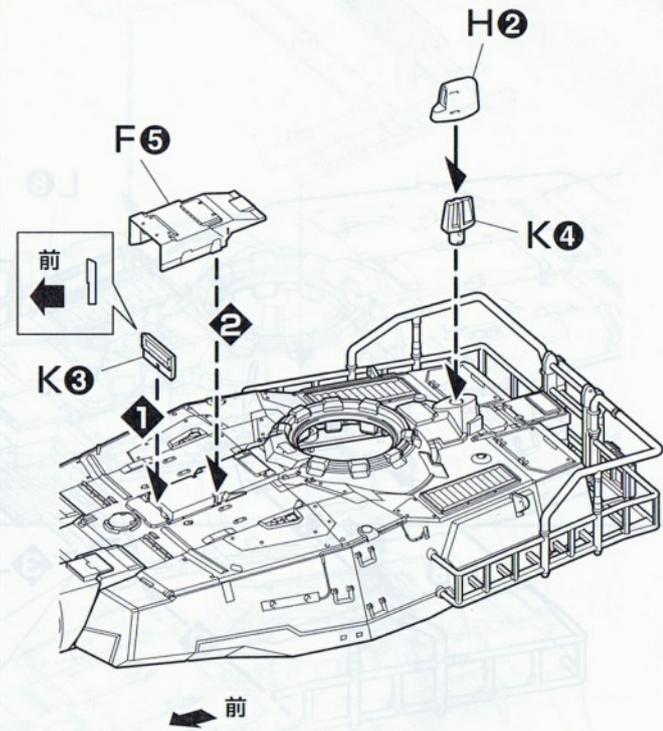
<ラダー>



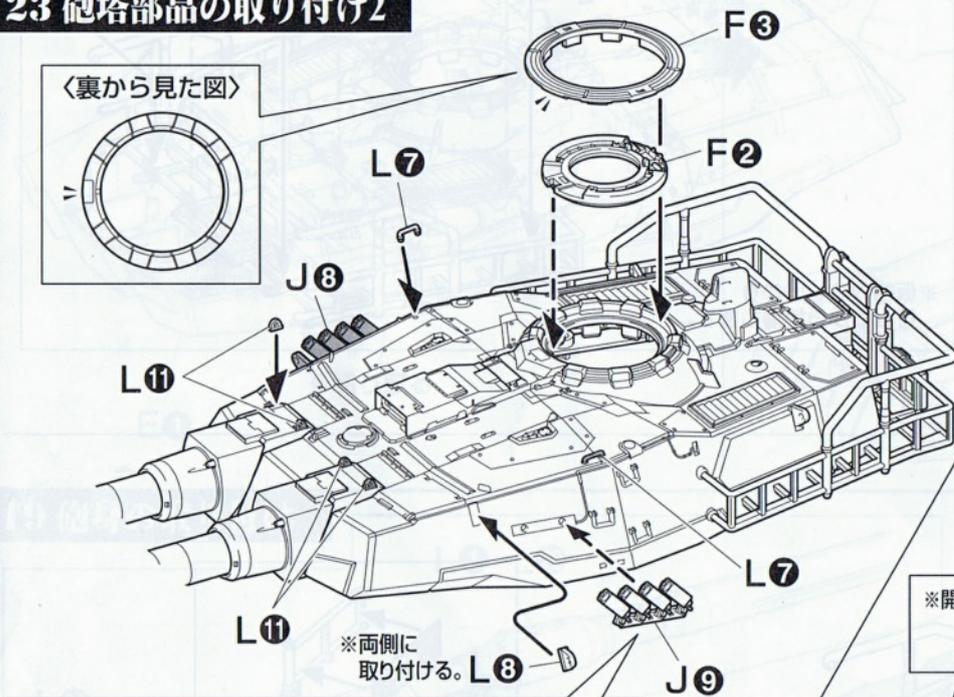
<ラダー収納時>



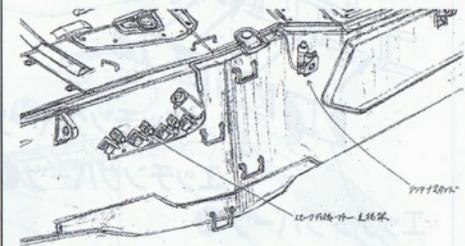
22 砲塔部品の取り付け1



23 砲塔部品の取り付け2



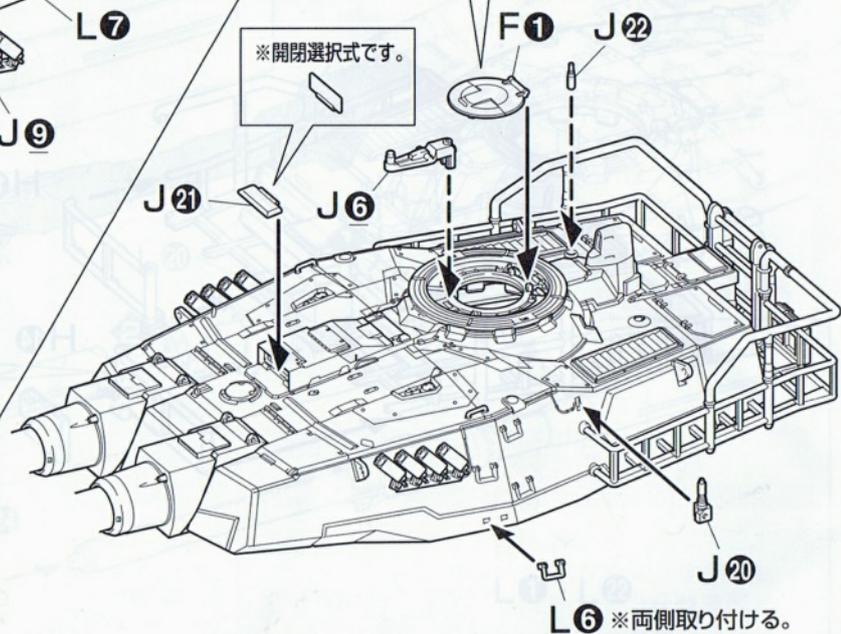
<ディテール参考用画稿>



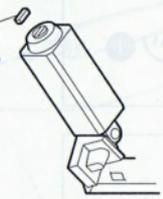
ハッチ開

※コマンダーを乗せる場合はハッチ開の状態に取り付けてください。

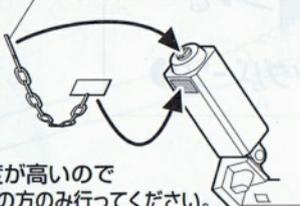
※開閉選択式です。



※切り取る。



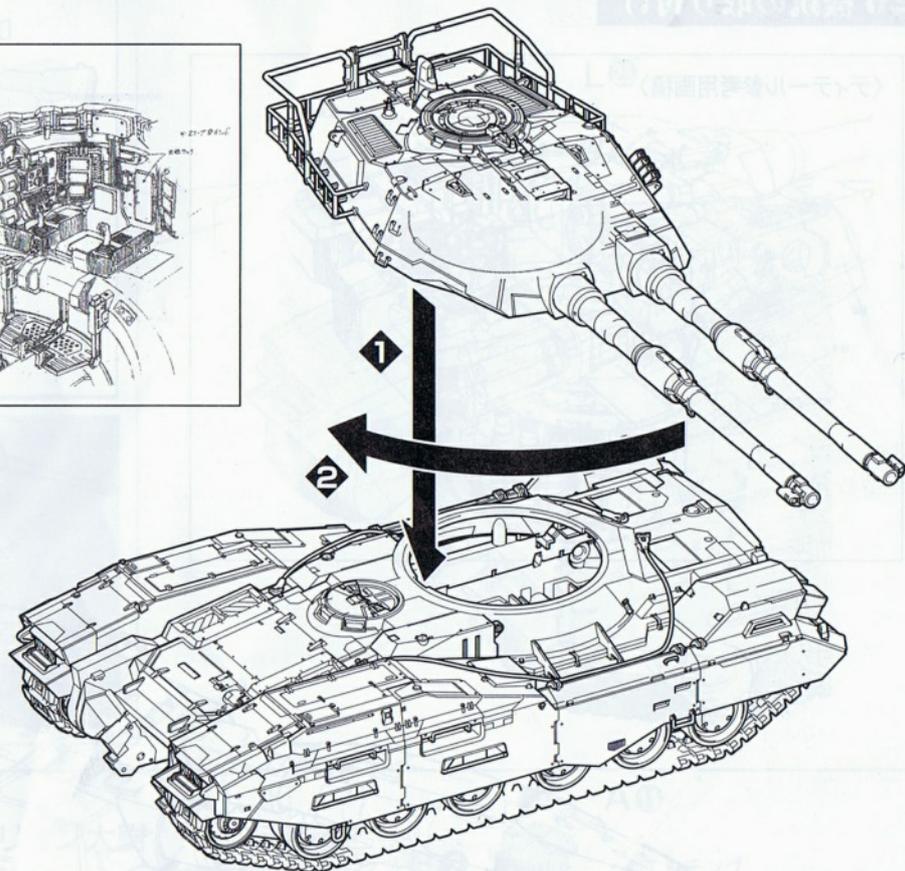
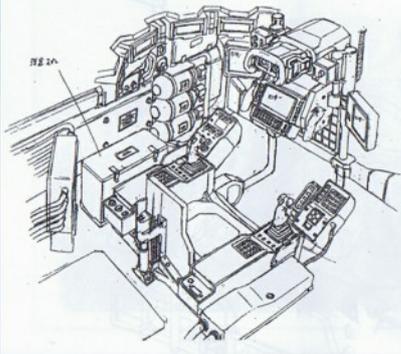
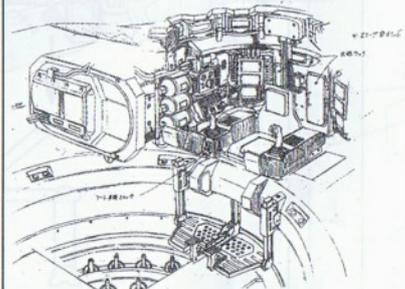
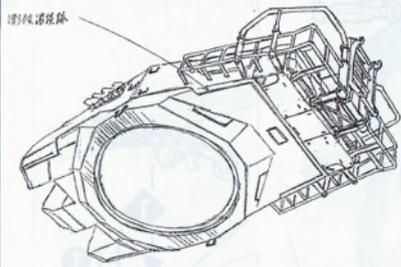
エッチングパーツ④



※難易度が高いので上級者の方のみ行ってください。

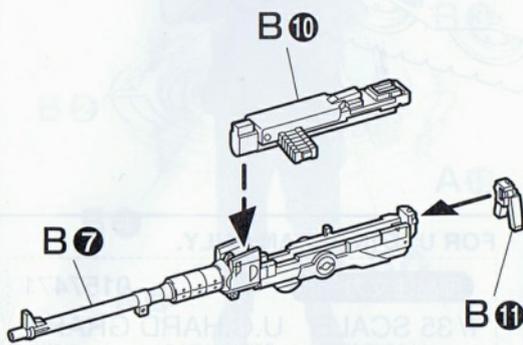
24 車輈本体の完成

〈ディテール参考用画稿〉



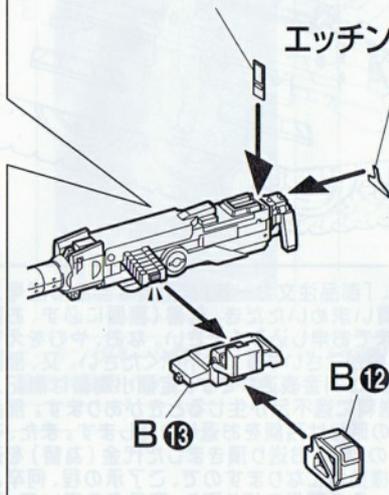
25 機銃の組み立て

〈13.2mm重機関銃 M-60 HMG〉

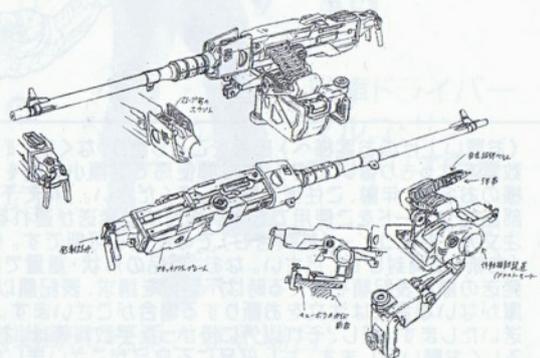


エッチングパーツ e

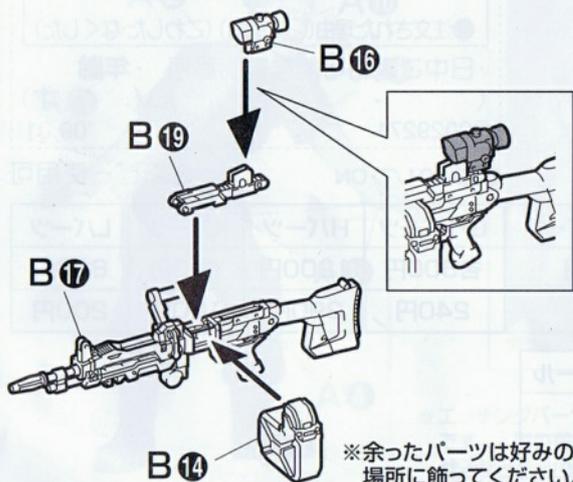
エッチングパーツ f



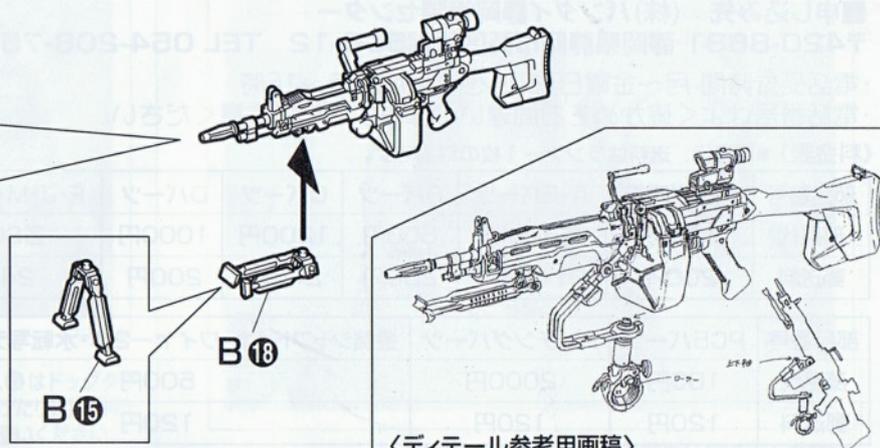
〈ディテール参考用画稿〉



〈分隊支援機関銃 M-299〉



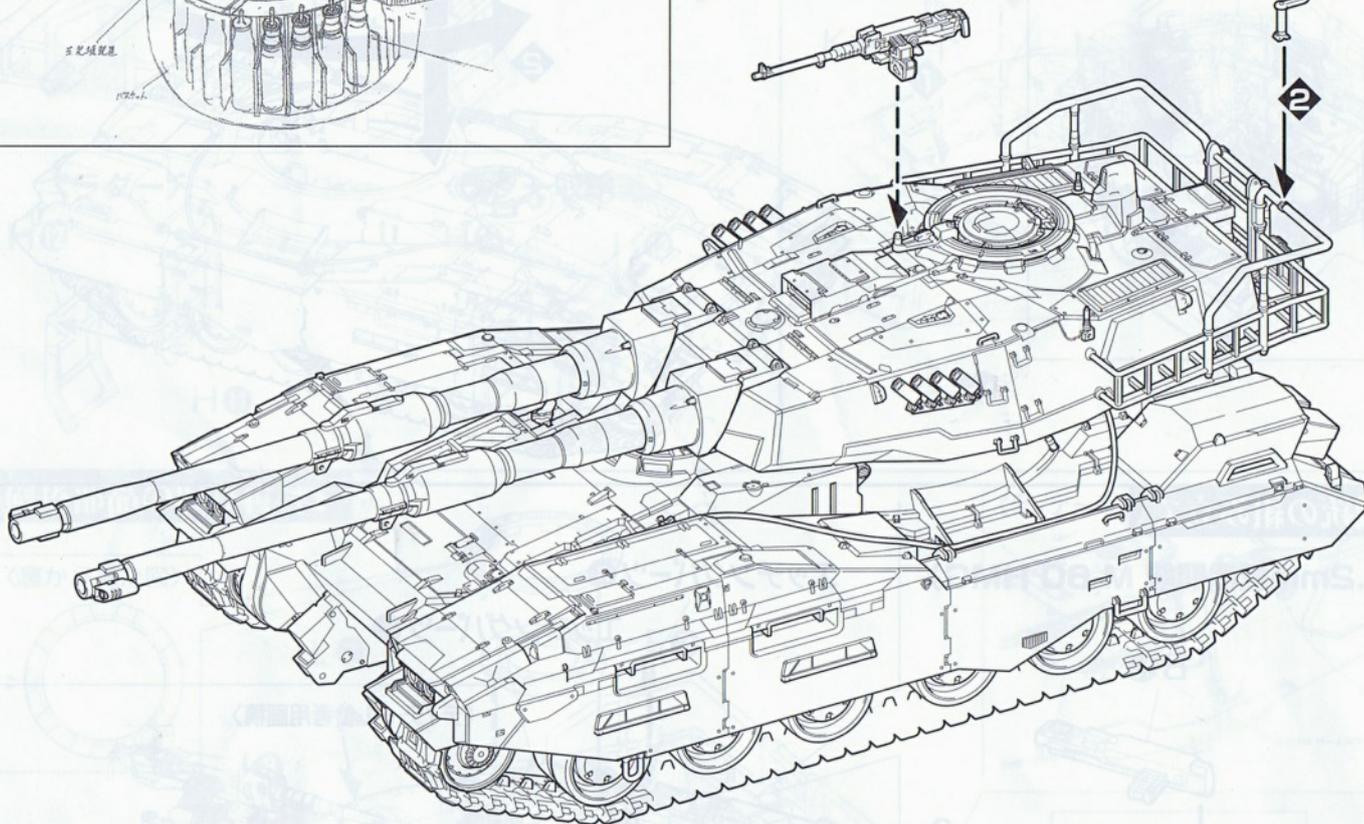
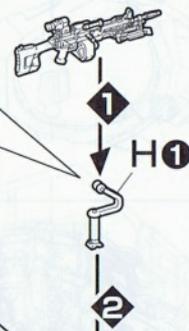
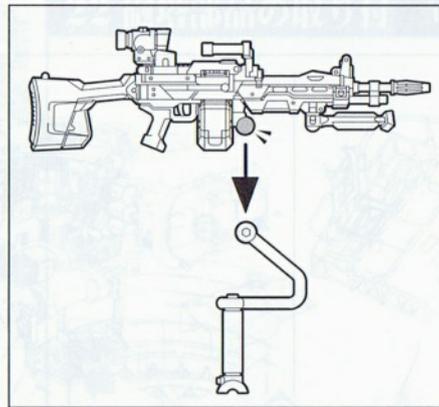
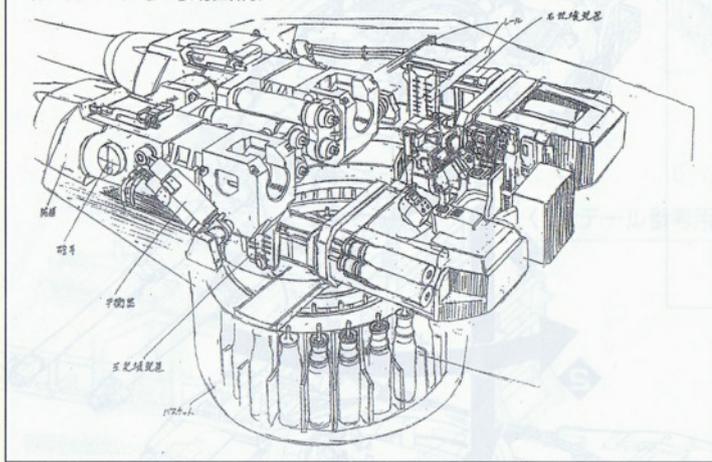
※余ったパーツは好みの場所に飾ってください。



〈ディテール参考用画稿〉

26 機銃の取り付け

〈ディテール参考用画稿〉



「ご購入のお客さまへ」部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書（裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。）にて下記までお申し込みください。なお、やむをえず部品注文カードをご使用できない場合には発送が遅れる場合がございます。ご了承ください。又、部品注文カードはコピー（拡大含む）での使用も可能です。代金は、料金表通りです。定額小為替は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時は残額をお返しいたします。また、在庫がない場合には注文をお断りする場合がございます。その際は、お送り頂きました代金（為替）を返送いたします。但し、それ以外に掛かった手数料等は、お客様負担になりますので、ご了承の程、何卒よろしくお願い致します。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは<http://bandai-hobby.net>より▶お客様へ■部品注文「部品が必要になったらこちらのページをご覧ください。」の所をクリックしてください。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL 054-208-7520

・電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10時～16時
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようご注意ください。

《料金表》●部品代、送料はランナー1枚の料金です。

部品番号	取扱説明書	A・Eパーツ	Bパーツ	Cパーツ	Dパーツ	F・J・M・Nパーツ	G・Iパーツ	Hパーツ	Kパーツ	Lパーツ
部品代	150円	各600円	600円	1200円	1000円	各800円	各600円	1200円	400円	800円
郵送料	200円	140円	200円	240円	200円	240円	240円	390円	120円	200円

部品番号	PC5パーツ	エッチングパーツ	金属シャフト4本・ワイヤー2本・水転写デカール
部品代	100円	2000円	500円
郵送料	120円	120円	120円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード 0157471

1/35 SCALE U.C.HARD GRAPH
No.6 地球連邦軍61式戦車5型「セモベンテ隊」

必要な部品の記号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む) (こわした/なくした)

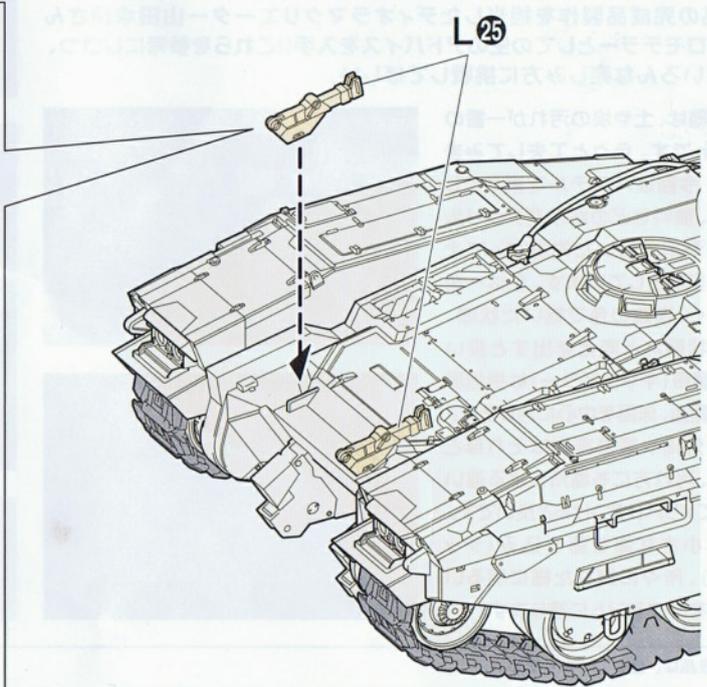
日中ご連絡可能な電話番号 年齢
() ()
R2029271 '09.01

2009.01/T・ON

※コピー使用可

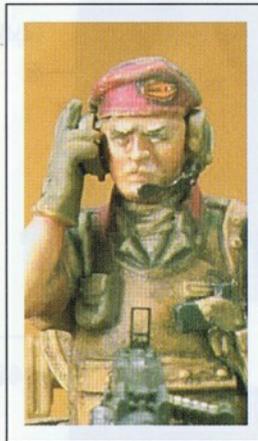
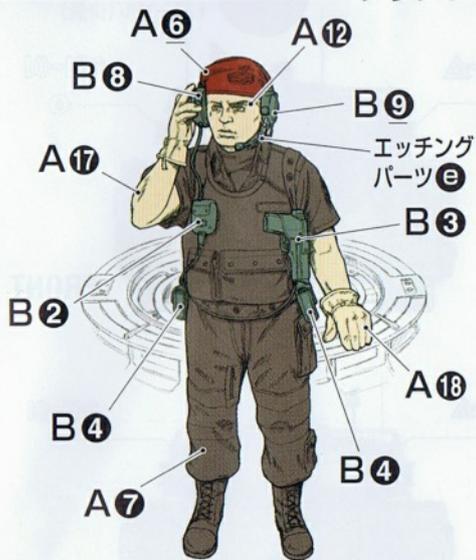
27 トラベリングロックの取り付け

〈砲塔固定時〉



フィギュアの組み立て

戦車車長
フランシス・マリオン大尉

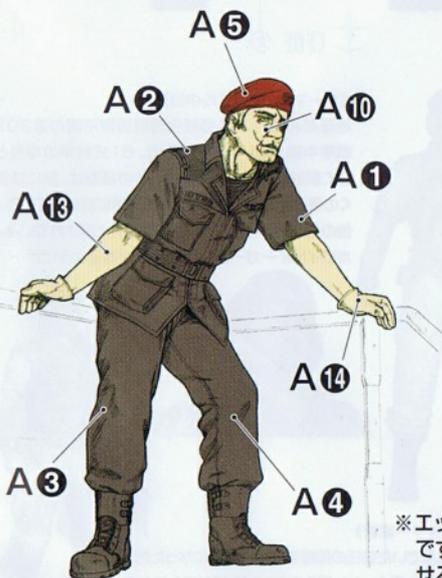


※エッチングパーツ⑨(マイクブーム)の取り付けは、写真や設定イラストを参考にしてください。



戦車ドライバー
マルコ・サン
=ロザリオ曹長

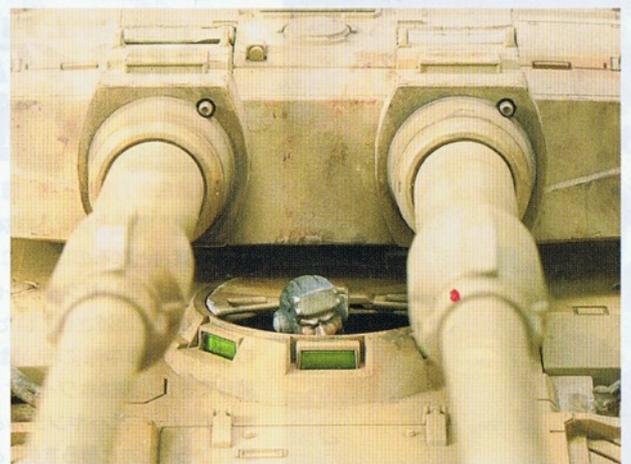
フェデリコ・ツァリアーノ中佐



※エッチングパーツ⑤、⑥はドッグタグです。人形の首にかけたり、手に持たせるなどで自由にお使いください。

《戦車に搭乗させる場合》

※A9・B42個は取り付けないでください。

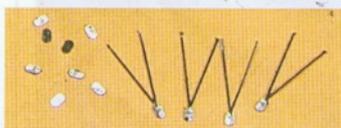
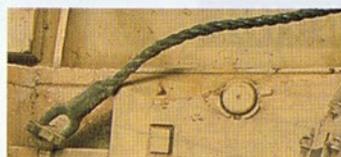
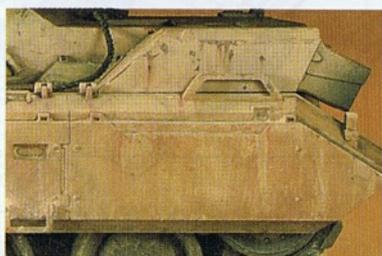


※余ったパーツは好みの場所に飾ってください。

PRO MODELER "REAL ADVICE"

本商品の完成品製作を担当したディオラマクリエイター山田卓司さんからプロモデラーとしての生のアドバイスを入手!!これらを参考にしつつ、さらにいろんな楽しみ方に挑戦してほしい。

軍用車輛は、土や埃の汚れが一番のポイントです。色々工夫してみましょう。今回はパステルを細かくした物や、顔料などの粉末をアクリル塗料の溶剤で溶いた物を塗って土汚れの表現としています。色は一色では無く、複数の色で乾いた状態、湿った状態など変化を出すと良いです。履帯(キャタピラー)は接地面や車体側面、床面を中心に汚します。転輪の外周や履帯裏側はそれほど汚さず、汚れ方にも場所による違いを出してメリハリをつけると良いです。錆びは小さな傷を書き込み(チッピング)、所々に流れた様に明るい錆び色をアクセントに塗ります。



ワイヤーは「メタルカラー」で塗装するか、艶消しの黒で塗り、鉛筆をこすりつけると鉄の質感が出ます。アンテナは伸ばしランナーで追加するとリアリティーが増します。人形は丁寧に塗るのがコツです。今回はエナメル塗料に油絵の具を混ぜて彩度を加えて塗りました。塗料は溶剤で薄めて何回かに分けて塗り、濃い色で墨流的にしめ込みを出したり、明るい色で出っ張った部分を塗って立体感を強調しました。エッチングパーツはゲートを丁寧に切り出します。繊細なパーツなので曲げない様に優しく扱きましょう。塗装時はプライマーなどで下地のくいつきを良くします。ドッグタグは紐を黒などで塗装したり、単品のタグには細い導線などで紐をつけると良いです。人形の手に持たせたり、ペンダントと一緒に接着してみるのも良いでしょう。

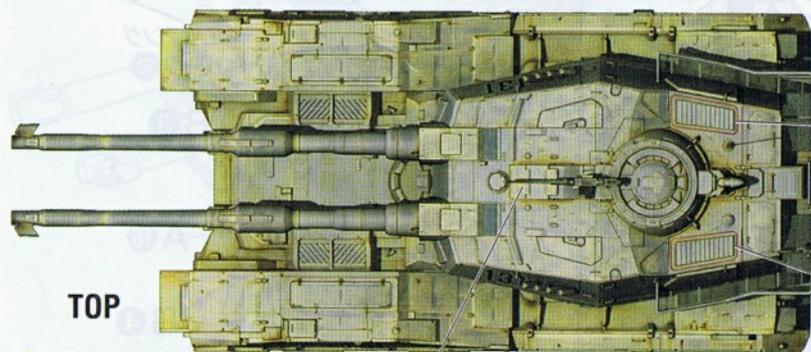
●写真の完成品は、塗装してあります。

VARIATION

《地球連邦軍 ヨーロッパ方面軍 第44機械化混成連隊 第301戦車中隊 第1小隊 指揮車》

ジオン軍の猛攻に耐え、ヨーロッパ大陸に最後まで踏み留まり抗戦した部隊の車輛です。

●本体等:
グレーFS36320 (65%)
+ミディアムブルー (35%)
+パープル(少量)



TOP

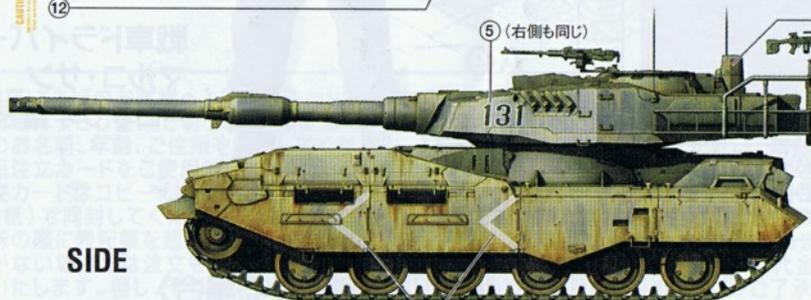
44-MCR-△

7

301-01

8

FRONT



SIDE

5 (右側も同じ)

12

4 (右側は①)

44-MCR-△

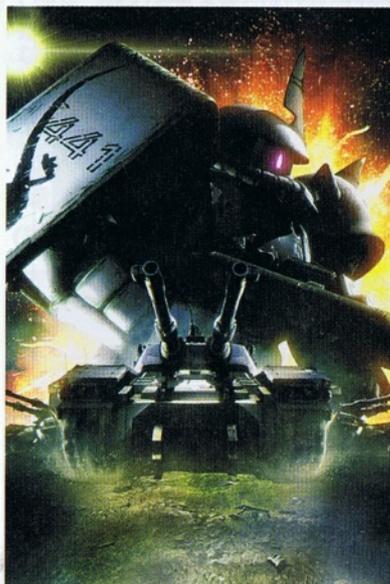
11

301-01

10

REAR

EF6F ②



一年戦争の地上戦をハイクオリティな3DCGで映像化!

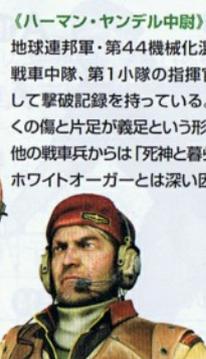
機動戦士ガンダム MS IGLOO 2 重力戦線

OVA第2巻「陸の王者、前へ!」

“白い鬼”を追う男の執念の戦いが始まる!

戦いの舞台となるのは、U.C.0079、7月。ヨーロッパ北部戦線では、白いザク・ホワイトオーガーが地球連邦軍の部隊を次々と壊滅させていた。そして同じ頃、地球連邦軍の第301戦車中隊に若い戦車兵、レイバン・スラーが転属してきた。彼はホワイトオーガーと因縁を持つ前任の戦車兵、ハーマン・ヤンデルと組むことになった。他の戦車兵から「死神と暮らす男」と呼ばれるヤンデル、そして連邦から死神と恐れられるホワイトオーガー。互いに死神とよばれる者同士が激突する…

(発売元:バンダイビジュアル株式会社)



《レイバン・スラー軍曹》

ヤンデルと組んでいた前任の操縦手が戦線不能になったため、新たに配属された兵士。ヤンデルとコンビを組むことになる。若いのが、ヤンデルを納得させる操縦技術を持っている。

《ハーマン・ヤンデル中尉》

地球連邦軍・第44機械化混成連隊所属の第301戦車中隊、第1小隊の指揮官。61式戦車の車長として撃破記録を持っている。その経歴は、顔には多くの傷と片足が義足という形で身体に刻まれている。他の戦車兵からは「死神と暮らす男」と噂されている。ホワイトオーガーとは深い因縁があるようだ…